

MUSIC RACK・ マイアルバムを聴く

本機への録音方法、またMUSIC RACKとマイアルバムの再生方法などの操作について説明します。

目次

MUSIC RACKとは	212
MUSIC RACKに録音する	213
マイアルバムを作成する	217
画面表示とタッチキーについて	220
再生する	222
いろいろな再生方法	223
アルバム、トラックを編集する	240

MUSIC RACKとは

MUSIC RACKとは、CDの曲を本機に録音し、再生する機能のことです。CDを持っていなくても、MUSIC RACKからそのCDの曲を聴くことができます。

MUSIC RACKの仕様は、下記の通りです。

録音可能曲数	最大4000曲 ^(※1) アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できる曲数：最大99曲 ※ただし、録音可能時間の範囲内のみ ^(※2)
録音できる音源	音楽CDのみ ^(※3)
音質	ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。 CDの音質を損なわず、容量を約1/10に圧縮できます。

(※1) MUSIC RACKとFILE RACK (P.247) では同一のドライブにデータが保存されるため、FILE RACKで大量のデータを取り込むと、MUSIC RACKで録音できる曲数は減少します。

(※2) 録音可能時間については、「ハードディスク情報を見る」(P.122) をご覧ください。

(※3) 再生できるCDについては、「CDについて」(P.445) をご覧ください。

本機は、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム：Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号同士のコピーを<1世代まで>と規制しております。

したがって、下記の操作を本機で行うことはできません。

- 本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
- デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること



アドバイス

- ・録音した曲の中からお好みの曲を集めて、オリジナルのアルバムを作ることができます。詳しくは、「マイアルバムを作成する」(P.217) をご覧ください。

MUSIC RACKに録音する

MUSIC RACKを使用するには、まずCDの曲を本機に録音します。

録音する前に必ずお読みください

- 録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
- 本機の故障や誤作動および不具合により録音に失敗した場合、録音内容および消失した録音データの補償については、ご容赦願います。
- 録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
- 録音したデータは、いかなる記憶媒体にも転送できません。
- CDの録音中は、ドルビープロロジックII機能 (P.313) に制限がかかることがあります。

タイトル表示について

CDを本機に録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition ServiceSMのデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。

情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。

また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。



アドバイス

- Gracenote Music Recognition ServiceSMのデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新することができます。詳しくは、「**アルバム情報の更新について**」(P.373) をご覧ください。

録音についてのご注意

録音時の状態について

下記のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。

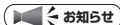
- 録音中にCDの音が飛んだ
- 傷があるなどCDの状態が悪い
- 録音中に振動の激しい悪路を走行した

録音中の操作について

録音中に下記の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。

録音を中止する場合は **はい** を、続行する場合は **いいえ** をタッチします。

- トラックキーまたはリストからの選曲（ダイレクトトラック選択）
- **REC** をタッチする
- リピート／スキャン／ランダム再生



- 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。

また、録音中に下記の操作を行うと、録音中の曲が消去されます。

- エンジンを切る
次回エンジンをかけると、前回録音していた曲の先頭から録音を再開します。
- CDを取り出す

自動録音時：

同じCDを再び挿入すると未録音の曲から録音・再生します。

手動録音時：

曲の消去と同時に録音設定がキャンセルされるので、同じCDを再び挿入するときは録音設定を行ってください。

自動録音



- ・自動録音は、最大6倍速で行われます。ただし、システムの動作状況により、必ずしも上記の動作が保証されるわけではありません。

1 CDを本機に挿入する

自動的に録音が始まります。
工場出荷時はこの設定になっています。

自動録音に設定する

1  を押し、  をタッチする

2  をタッチする

3  をタッチする

4  をタッチする



手動録音

設定が自動録音になっている場合は、まず手動録音に設定してから録音操作を行ってください。

手動録音に設定する

1  を押し、**各種設定** をタッチする

2  をタッチする

3  をタッチする

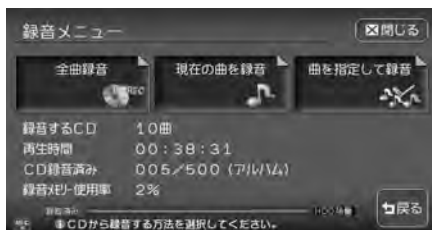
4  をタッチする


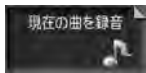
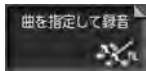
▶ END ◀

手動録音する

1 CD再生中に **REC** をタッチする

2 希望の録音モードをタッチする



項目名	設定内容
	再生中のCDを全曲録音する 確認画面で はい をタッチすると、アルバムの先頭から録音されていないトラックの再生と録音が始まります。
	再生中の曲のみを録音する タッチすると再生中のトラック先頭に戻り、再生・録音を始めます。
	録音したい曲をリストから選択して録音する 選択後に 決定 をタッチすると、先頭に近い曲から再生・録音を始めます。

▶ END ◀

マイアルバムを作成する

マイアルバムは、MUSIC RACKに録音した曲からよく聴く曲を集めて、お好みのオリジナルアルバムとして編集できる機能です。

お知らせ

- マイアルバムが1つも作成されていない場合は、**マイアルバム**をタッチすると「アルバムが作成されていません。作成しますか？」と表示されます。
はいをタッチするとマイアルバムの作成画面（手順5）が表示されます。
- CD録音中は、マイアルバムの作成はできません。

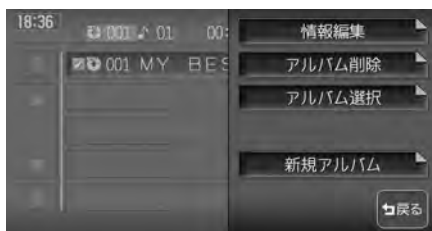
1 **SOURCE** を押し、**MUSIC RACK** をタッチする

2 **マイアルバム** をタッチし、**リスト** をタッチする

3 **編集** をタッチする

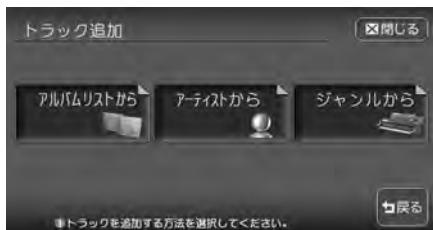


4 **新規アルバム** をタッチする



5 アルバム名を全角／半角28文字までで入力して、**決定**をタッチする

6 トラックの追加方法を選択してタッチする



選択した方法で、MUSIC RACKに録音済みの音源がリスト表示されます。

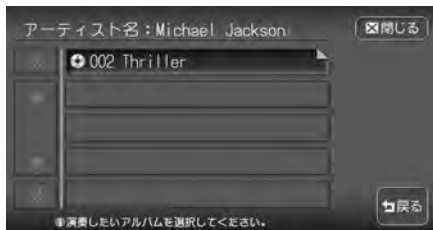
アルバム選択でトラックを追加する場合は、手順8に進んでください。

7 登録したいアーティスト名またはジャンルをタッチする



※画面は手順6で「アーティストから」をタッチした場合のものです。選択した項目のアルバムリストが表示されます。

8 登録したいアルバムを選択してタッチする



9 登録したいトラックを選択してタッチする

複数のトラックを選択できます。



別のアルバムからさらにトラックを追加する場合にタッチします。手順6の画面に戻ってトラックを選択できます。

10 選択し終わったら、**アルバム作成**をタッチする

アルバムが作成され、アルバムリスト画面に戻ります。



画面表示とタッチキーについて

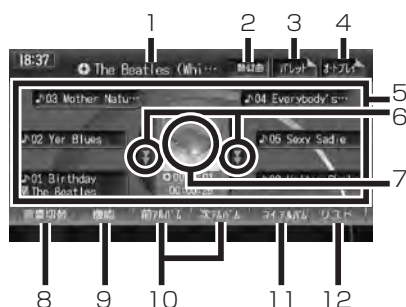
画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

お知らせ

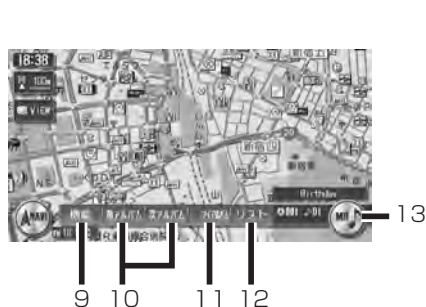
- ・本機で対応しているディスクについては、「対応メディア・対応ファイルについて」(P.444)をご覧ください。



オーディオ画面



ナビ画面










1	アルバム名称	現在再生中のアルバム名表示 タッチすると、スクロールします。
2	類似曲 [※]	ジャンル、リリース時期などが似ている曲を集めて再生する
3	パレット [※]	ソングパレットから再生する
4	プレイ [※]	お好みのプレイリストを作成する
5	トラックキー	再生中のアルバムにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
6	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
7	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを先頭に表示させる

8	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する (P.152)
9	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する (P.228)
10	前アルバム、次アルバム	再生するアルバムを切り替える
11	マイアルバム	マイアルバムリストを表示する (P.217)
12	リスト	アルバム／トラックリストを表示する
13	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース (MR) 表示 タッチすることにより、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

※ 背景の設定 (P.152) で「メイン画面」を選択した場合のみ表示されます。

お知らせ

- 1曲ずつ選曲するときは、 および  を押します。 を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。 を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に  を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、 (早送り) および  (早戻し) を押し続けて行います。
- MUSIC RACKに何も録音されていない場合は、「NO ALBUM HDDにはなにも録音されていません」と表示されます。

再生する

1 を押す

2 をタッチする

前回再生していたトラックから再生が始まります。



いろいろな再生方法

リストから選んで再生する

アルバム／トラックリストから、ダイレクトに曲を選択できます。



アルバムリスト



再生中のアルバムは、名称の横に☑が表示されています。聴きたいアルバムをタッチすると、そのアルバムの先頭から再生が始まります。



トラックリストを表示したいアルバム名をタッチする

トラックリスト



再生中のトラックは、名称の横に☑が表示されています。聴きたいトラックをタッチすると、そのトラックの先頭から再生が始まります。

アドバイス

- 見たいアルバム／トラックタイトルが表示されていない場合は、 または をタッチしてリストをスクロールしてください。ただし、走行中はリストをスクロールすることはできません。現在表示中のリストからのみ選曲できます。
- または を押して、表示されているアルバム／トラックを選択することもできます。

アルバム名を選んで再生する

MUSIC RACK



- ・ Gracenote Music Recognition ServiceSMから情報が取得されていないアルバムは検索できません。その場合は、「アルバム情報を編集する」(P.240)を参照して、情報を手入力してください。



1 **検索** をタッチする

2 **アルバム名** をタッチする

3 アルバム名を入力し、**決定** をタッチする



入力した文字に該当するアルバムの数が右上に表示されます。絞り込みにより、該当しない文字のキーは消えていきます。

該当するアルバムを先頭にしたアルバムリスト画面が表示されます。

4 **聴きたいアルバム** をタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。



アーティスト名を選んで再生する

MUSIC RACK

アーティスト名を入力して、目的のアルバムを探し出して再生します。



- ・ Gracenote Music Recognition ServiceSMから情報が取得されていないアルバムは検索できません。その場合は、「アルバム情報を編集する」(P.240)を参照して、情報を手入力してください。



1 目的のアーティスト名をタッチする

アーティスト名は記号→数字→英語→ひらがな／カタカナ→漢字の順で表示されます。

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。



ジャンルを選んで再生する

MUSIC RACK

ジャンルを選択して、目的のアルバムを探し出して再生します。



- ・ Gracenote Music Recognition ServiceSMから情報が取得されていないアルバムは検索できません。その場合は、「アルバム情報を編集する」(P.240)を参照して、情報を手入力してください。



1 目的のジャンルをタッチする

選択したジャンルで登録してあるアルバムが、番号の若い順にリスト表示されます。



2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。



最近聴いた曲を選んで再生する

最近聴いた曲の中から、目的のトラックを検索できます。

お知らせ

- ・ 最近聴いた曲として検索できるのは、アルバムリストから選択されたアルバム、音声操作で選択したアルバムとなります。ただし、再生中のアルバムを選択した場合は、そのアルバムは「最近聴いた曲」には登録されません。
- ・ FUN RINGメニューから最近聴いた曲を探すこともできます。詳しくは「最近聴いたアルバムの曲を聴く」(クイックガイド P.93) をご覧ください。



1 聴きたい曲をタッチする

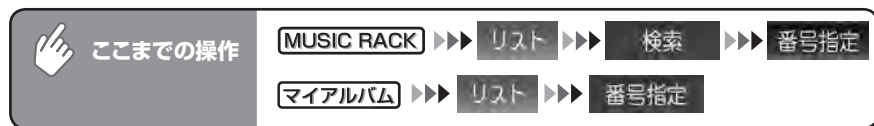


アルバムの先頭から再生が始まります。



アルバム番号を選んで再生する

アルバム番号を入力して、目的のアルバムを検索します。



1 アルバム番号を入力して **決定** をタッチする

入力した番号を先頭にしたアルバムリストが表示されます。

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。



トラック番号を選んで再生する

トラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。



1 トラック番号を入力して **決定** をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

2 聴きたいトラックをタッチする

選択したトラックから再生が始まります。



リピート、スキャン、ランダム再生をする

リピート、スキャン、ランダム再生のしかたについて説明します。

お知らせ

- ・ MUSIC RACKでランダム再生を選択し、その後MUSIC RACK以外のソースに切り替えてふたたびMUSIC RACKに戻った場合、録音済みの曲数が変わっていると、異なる曲が再生されることがあります。



ここまでの操作

機能

1 目的の項目をタッチし、**閉じる**をタッチする



ALBUM

TRACK

ALBUM

TRACK

ALL TRACK

1ALBUM

(REPEAT) : 現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。

(REPEAT) : 現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

(SCAN) : 各アルバムの先頭トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

(SCAN) : 現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

(RANDOM) : 全アルバムの全トラックをランダムに再生します。

(RANDOM) : 現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

選択した動作での再生が始まります。

2 通常の再生に戻るときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

選択を解除し、再生中のアルバムまたはトラックから通常の再生になります。

▶ END ◀

指定したアルバムを再生する

再生するアルバムを指定します。複数のアルバムを指定できるので、好きなアルバムだけをつけて再生することができます。

MUSIC RACKの場合

ここまでの操作

リスト ▶ 編集 ▶ 選択演奏

1 お好みの選択方法をタッチする



2 演奏したい項目（アルバム、アーティスト、ジャンル）を選択してタッチする



※画面は手順1で「アルバム選択」をタッチした場合のものです。選択した項目のチェックマークが表示されます。

3 決定をタッチする

選択した項目が再生されます。



- 何も選択しないで「決定」をタッチすると、すべてのアルバムが再生されます。

- 選択演奏を中止するには、アルバムリストから「編集」→「選択演奏」→「選択演奏解除」の順にタッチし、確認メッセージ画面で「はい」をタッチします。
- 選択演奏中は、オーディオ情報表示部にそれぞれのアイコンが表示されます。

- : アルバム名選択時
- : アーティスト名選択時
- : ジャンル選択時

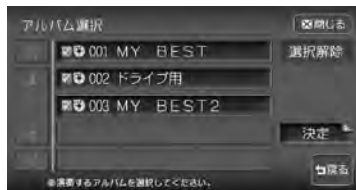
▶ END ◀

マイアルバムの場合

ここまでの操作

リスト ▶ 編集 ▶ アルバム選択

1 再生したいアルバムをタッチする



選択したアルバムのチェックマークが表示されます。

2 決定をタッチする

選択したアルバムが再生されます。

▶ END ◀

オートプレイリストを作成して再生する MUSIC RACK

オートプレイリストは、MUSIC RACKに録音した曲からアーティスト名、アーティストタイプ、ジャンル、リリース時期などの条件で曲を集めて、お好みのプレイリストとして編集できる機能です。

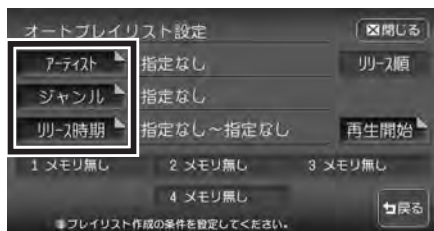
お知らせ

- ・プレイリストは最大99曲まで集められ、曲順はランダムに再生されます。
- ・CD録音時は、オートプレイリストの設定および再生はできません。
- ・走行中は、オートプレイリストの設定はできませんが、再生をすることはできます。

1 **オートプレイ** をタッチする

オートプレイリスト設定画面が表示されます。

2 **アーティスト**、**ジャンル**、または **リリース時期** にタッチし、条件を設定する



各条件設定画面が表示されます。

アドバイス

- ・「アーティスト」「ジャンル」「リリース時期」の各設定画面で、選択後に **決定** をタッチすると選択した内容が有効になります。

アーティスト選択

アーティスト名 または アーティストタイプ をタッチし、希望の項目をタッチして選択します。



選択した項目のチェックボックスに
チェックマークが表示されます。

アーティスト名： アーティスト名のリストから選択します。アーティストを選択しない場合は、すべてのチェックマークを外します。

アーティストタイプ： 以下のアーティスト種別リストから選択します。

男性ソロ／女性ソロ／男性デュオ／女性デュオ／男女デュオ／男性グループ／女性グループ／男女グループ／その他

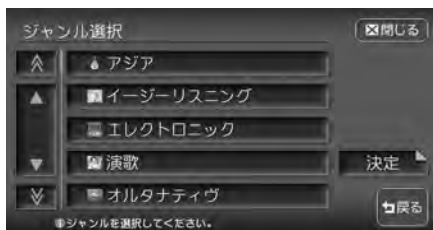
アーティストタイプを選択しない場合は、すべてのチェックマークを外します。

※アーティスト名とアーティストタイプは同時に選択できません。また、選択できるアーティスト名とアーティストタイプは1つだけです。

ジャンル選択

希望のジャンルを選択してタッチします。

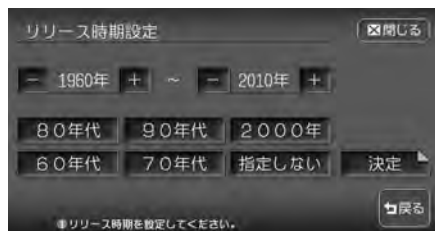
選択できるジャンルは1つだけです。



リリース時期設定

+、**-**で指定するか、年代キーをタッチしてワンタッチで範囲を指定することもできます。

指定できる範囲は、1900年～本機を使用している当年までです。



3 登録したいプリセットキーを「ピーツ」と音がするまでタッチし続ける

設定した条件を登録しない場合は、手順4に進んでください。



タッチするとリリースされた日付順に曲を並べ替えて再生できます。

チェックボックスにチェックマークが表示され、オートプレイリストが登録されます。

プリセットキーには、以下が表示されます。

(アーティスト名が表示)：アーティスト名が指定されています。

指定無し：再生条件が設定されているが、アーティスト名は指定されていません。


メモリなし：再生条件が設定されていません。

4 再生開始をタッチする

オートプレイリストが再生されオーディオ画面に戻ります。

過去に設定した条件で再生する場合は、再生したプリセットキーをタッチしてから再生開始をタッチします。

 お知らせ

- ・設定した条件は4つまで登録できます。ユーザーを登録している場合は、ユーザーごとに4つまで登録できます。
- ・リリース順に並べ替えた曲順は、プリセットキーに登録できません。
- ・オートプレイリスト再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。また、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名によるアルバム検索もできません。
- ・オートプレイリスト再生中にCDを挿入し自動録音が始まった場合、CDモードに画面が変わります。このときオートプレイリスト再生は終了しないため、ふたたびMUSIC RACKに画面が切り替わると、引き続きオートプレイリスト再生が始まります。
- ・プレイリスト作成中にCDを挿入し自動録音が始まった場合、プレイリスト作成が完了するまで音が出力されないことがあります。
- ・プレイリスト作成中にを押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

 アドバイス

- ・アーティスト、ジャンル、リリース時期を指定せずに再生を開始すると、すべてのトラックからランダムで99曲集められて再生されます。



オートプレイを中止する

ここまでの操作

オートプレイ

1 **解除** をタッチする

オートプレイが中止され、オートプレイ再生の前に再生されていた曲に戻ります。



アドバイス

- オーディオコントロールバーの **通常再生** をタッチしても中止できません。

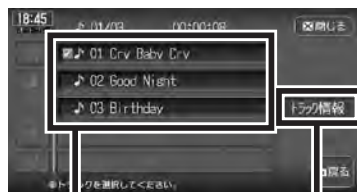
▶ END ◀

オートプレイ中にトラックリストを表示する

オートプレイリスト再生中に、登録されたトラックリストを見ることができます。

1 **リスト** をタッチする

トラックリスト画面が表示されます。



現在再生中のトラックには、チェックマークが表示されます。

トラック情報画面が表示されます。

▶ END ◀

類似曲を再生する

MUSIC RACK

現在再生中のトラック情報から、アーティスト、ジャンルが類似している曲を集めて、自動再生する機能です。

お知らせ

- ・ 類似曲として集められた曲を登録することはできません。


1 類似曲をタッチする

類似曲がランダムに最大で99曲集められ、曲の再生が始まります。

2 通常の再生に戻るときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

お知らせ

- ・ 類似曲再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。
- ・ 類似曲再生中に **再生開始** をタッチすると、類似曲再生が中止となりオートプレイ再生が始まります。オートプレイ中に **類似曲** をタッチすると、オートプレイ再生が中止となり類似曲再生が始まります。
- ・ CDの録音中は、類似曲再生はできません。ただし、類似曲再生中にCDの録音を始めた場合は、類似曲再生されたままCDの録音も開始されます。
- ・ 類似曲リスト作成中に  を押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

アドバイス

- ・ 類似曲再生中に **リスト** をタッチすると、集められた曲のリストが表示されます。
- ・ オーディオコントロールバーの **通常再生** をタッチしても通常の再生に戻ります。

▶ END ◀

ソングパレットから再生する

MUSIC RACK

いま聴きたい曲のイメージを指定すると、そのイメージに合った曲を最大で99曲集めて、自動再生する機能です。

曲のイメージは、CDからの録音時に自動で本機に登録されます。

1 **パレット** をタッチする

ソングパレット画面が表示されます。

2 パレット上で、聴きたい曲のイメージに近いポイントをタッチする



タッチしたポイントのイメージに最も近い曲がプレビュー再生されます。

プレビュー再生が終了すると、それまで再生していた曲に戻って再生されず。


アドバイス

- ・ ソングパレット表示時のカーソル位置は、現在再生中のトラックのイメージを示しています。
- ・ タッチしたポイントのイメージに応じて、背景色と画像が変わります。
- ・ タッチするポイントが端に近づくほど、そのエリアのイメージが強くなります。
- ・ タッチしたポイントのイメージに合致する曲が存在しない場合は、「該当する曲が見つかりませんでした。」と表示され、通常の再生に戻ります。

3 **再生開始** をタッチする

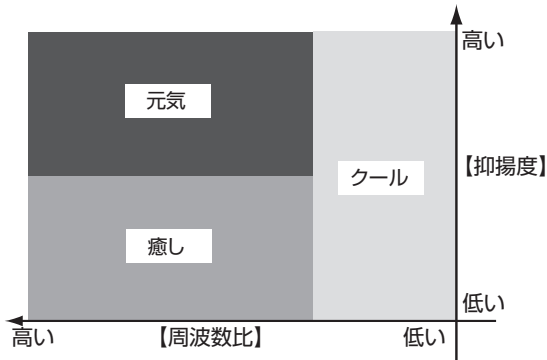
選択したイメージの曲のプレイリストが再生されオーディオ画面に戻ります。

お知らせ

- ソングパレット再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。また、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名によるアルバム検索もできません。
- ソングパレット再生中にCDを挿入し自動録音が始まった場合、CDモードに画面が変わります。このときソングパレット再生は終了しないため、ふたたびMUSIC RACKに画面が切り替わると、引き続きソングパレット再生が始まります。
- プレイリスト作成中にCDを挿入し自動録音が始まった場合、プレイリスト作成が完了するまで音が出力されないことがあります。
- プレイリスト作成中にを押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

アドバイス

- ソングパレットにおける曲のイメージは、抑揚度と周波数比で決められています。



抑揚度が高いほどビートが利いた印象になり、周波数比が高いほど力強く激しい印象になります。

例：周波数比が低く抑揚度が高い曲は、「クール」の中でも「元気」な印象の曲となります。

▶ END ◀

ソングパレット再生を中止する

ここまでの操作

パレット

1 解除 をタッチする

ソングパレット再生が中止され、ソングパレット再生の前に再生されていた曲に戻ります。



アドバイス

- オーディオコントロールバーの **通常再生** をタッチしても中止できません。

▶ END ◀

ソングパレット再生中にトラックリストを表示する

ソングパレット再生中に、登録されたトラックリストを見ることができます。

1 リスト をタッチする

トラックリスト画面が表示されます。



現在再生中のトラックには、が表示されます。

トラック情報画面が表示されます。

▶ END ◀

「探す」メニューから聴きたい曲を選んで再生する

目的地（「探す」メニュー）を押して、聴きたい曲をプレイリストとして選曲することができます。

「探す」メニューから選曲できる曲は、MUSIC RACKに録音された曲のみです。

お知らせ

- この操作を行うと、ソースがMUSIC RACKに切り替わります。
- CD録音中にソースをMUSIC RACKに切り替えて「曲を探す」メニューを表示すると、録音済みの曲のみ表示され、その後録音が終了した曲は表示されません。一度MUSIC RACK以外のソースに移り、ふたたびソースをMUSIC RACKに切り替えると、録音済みの曲がすべて表示されます。

1

目的地 を押し、 **曲を探す** をタッチする

曲を探すメニューが表示されます。

2

アーティスト、**ジャンル**、または **リリース時期** にタッチする

以降の操作については、「オートプレイリストを作成して再生する」(P.230)をご覧ください。

▶ END ◀

アルバム、トラックを編集する

アルバム情報を編集する



- ・ MUSIC RACKで選択演奏中は、情報の表示のみで編集はできません。



1 情報を編集したいアルバム名をタッチする

アルバム情報が表示されます。

2 情報を編集する

■MUSIC RACK



■マイアルバム



- アルバム名** : 文字入力画面が表示されます。全角／半角で28文字まで入力できます。
- アーティスト** : 文字入力画面が表示されます。全角で28文字まで入力できます。
- フリガナ** : 文字入力画面が表示されます。全角で28文字まで入力できます。
- ジャンル** : ジャンルリストが表示されます。登録したいジャンルをタッチして選択します。
- 画像** : 画像フォルダリストが表示されます。登録したい画像の入っているフォルダをタッチして選択し、さらに画像をタッチして選択します。

3 決定をタッチする



不要なアルバムを削除する



- ・ MUSIC RACKモード時に、マイアルバムに収録されているアルバムを削除すると、マイアルバムからも削除されます。



ここまでの操作

リスト



編集



アルバム削除

1

削除したいアルバムをタッチする

2

決定をタッチする

3

はいをタッチする

選択したアルバムが削除されます。



アルバムの再生順序を変更する



ここまでの操作

リスト



編集



アルバム並替

1 順序を変えたいアルバムをタッチする

タッチした項目の色が変わり、移動可能な場所に **移動** が表示されます。

2 移動したい場所の **移動** をタッチする



3 **決定** をタッチする

確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

▶ END ◀

トラック情報を編集する

MUSIC RACK

お知らせ

- ここで情報を編集したトラックがマイアルバムにも登録されている場合、編集内容はマイアルバムにも反映されます。



ここまでの操作

リスト



[編集したいアルバム]



編集

1

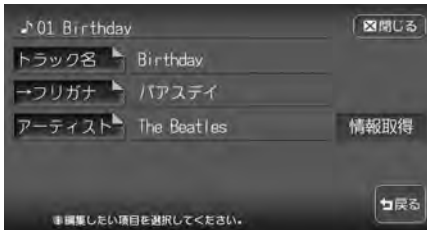
情報編集 をタッチする

2

情報を編集したいトラックをタッチする

3

情報を編集する



トラック名

: 文字入力画面が表示されます。全角/半角で28文字まで入力できます。

アーティスト

フリガナ

: 文字入力画面が表示されます。全角で28文字まで入力できます。

情報取得

: アルバム情報を更新するときに使用します。詳しくは「アルバム情報の更新について」(P.373) をご覧ください。

4

決定 をタッチする

5

閉じる をタッチする

情報を編集した次の曲から再生が始まります。

END

不要なトラックを削除する



ここまでの操作

リスト



[編集したいアルバム]

編集

1

トラック削除 をタッチする

2

削除したいトラックをタッチし、**決定** をタッチする

3

はい をタッチする

選択したトラックが削除されます。

END

トラックの再生順序を変更する

マイアルバム



ここまでの操作

リスト



[編集したいアルバム]

編集

1

トラック並替 をタッチする

2

順序を変えたいトラックをタッチする

タッチした項目の色が変わり、移動可能な場所に **移動** が表示されます。

3

移動したい場所の **移動** をタッチする



4 決定をタッチする

確認メッセージが表示され、トラックリスト画面に戻ります。
トラックリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。



トラック情報を表示する

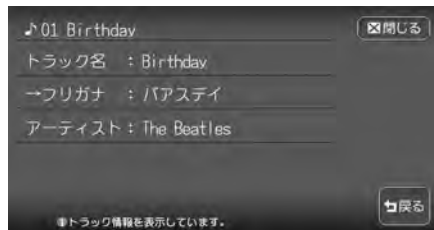


- ここで表示する画面から情報を編集することはできません。



1 情報を表示したいトラックをタッチし、トラック情報をタッチする

トラック情報が表示されます。



Memo

FILE RACKを聴く

MP3・WMA・AACファイルを本機へ取り込む方法、またFILE RACKの再生方法などの操作について説明します。

目次

FILE RACKとは	248
FILE RACKにデータを取り込む	250
画面表示とタッチキーについて	252
再生する	254
いろいろな再生方法	255
情報を表示する	258
アルバム・トラックを編集する	260

FILE RACKとは

FILE RACKとは、SDメモリーカード／USBメモリー内のMP3/WMA/AACファイルを本機に取り込み、再生する機能のことです。

FILE RACKの仕様は、下記の通りです。

録音可能曲数	最大4000曲 ^(*1) ・アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できる曲数：最大99曲 ・アーティストは最大200、1アーティストあたりの最大アルバム数：200 ※ただし、録音可能時間の範囲内のみ ^(*2)
取り込み可能なファイル	拡張子に「.MP3」「.WMA」「.M4A」（大小文字混在可能）のついたMP3、WMA、AACファイル ^(*3) （ただし、AACファイルはiTunes Ver.6～10で作成したファイルのみ）

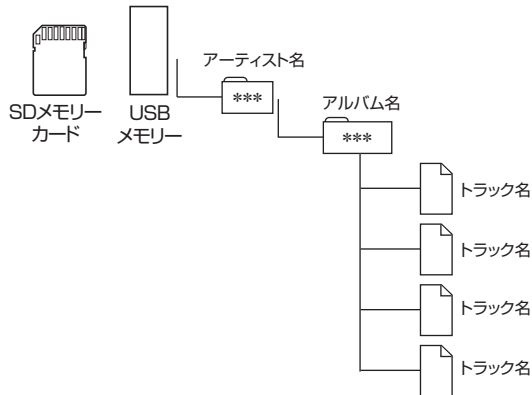
(*1) FILE RACKとMUSIC RACK (P.211) では同一のドライブにデータが保存されるため、MUSIC RACKで大量のデータを取り込むとFILE RACKで録音できる曲数は減少します。

(*2) 録音可能時間については、「ハードディスク情報を見る」(P.122) をご覧ください。

(*3) 取り込み可能なファイルについては、「MP3・WMA・AACファイルについて」(P.446) をご覧ください。

音楽データの保存方法について

SDメモリーカードまたはUSBメモリーには、次のようなイメージで音楽データが保存されている必要があります。この構成以外のフォルダに存在する音楽データはFILE RACKに取り込むことができません。



- アーティスト名、アルバム名、トラック名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

お知らせ

- SDメモリーカード／USBメモリーに保存できる音楽データの最大数については、「MP3・WMA・AACの記録メディアについて」(P.448)をご覧ください。
- 音楽データを保存する際の注意事項については、「MP3・WMA・AACの記録メディアについて」(P.448) のお知らせをご覧ください。

FILE RACKにデータを取り込む

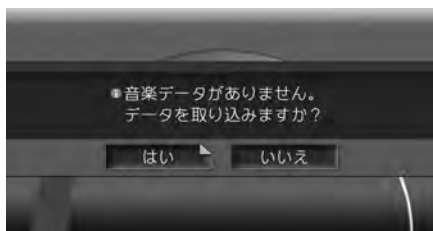
FILE RACKを使用するには、まずSDメモリーカード／USBメモリー内の音楽データを本機に取り込みます。

1 音楽データの入ったSDメモリーカードを本機に挿入する、またはUSBメモリーを接続する

SDメモリーカードの出し入れについては「SDメモリーカード」(クイックガイド P.74)、USBメモリーの接続については「USBの接続と取り外し」(P.264)をご覧ください。

2 SOURCE を押し、FILE RACK をタッチする

確認のメッセージが表示されます。



3 はい をタッチする

機能メニューが表示されます。



4 **メモリーカード** または **USB** をタッチする

5 **はい** をタッチする

音楽データが取り込まれます。

お知らせ

- 取り込みたいファイルを選択することはできません。拡張子が.MP3/.WMA/.M4Aのファイルを自動的に検出してハードディスクにすべて転送します。
- 取り込みを始める前に、ハードディスクの状態を最適な状態にするための処理を行います。取り込まれたファイルの数によっては最大1分程度かかります。
- 取り込み処理中は、再生は行われません。
- 取り込み処理中は、ソースの切り替えはできません。
- 取り込み処理中は、操作パネル開閉を除くほとんどの操作はできません。

 **END** 

次回からFILE RACKを選択すると、取り込まれた音楽データが自動的に再生されます。

新しく音楽データを取り込む場合は、**機能** をタッチしてから上記の手順4、5を実行してください。

画面表示とタッチキーについて

画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

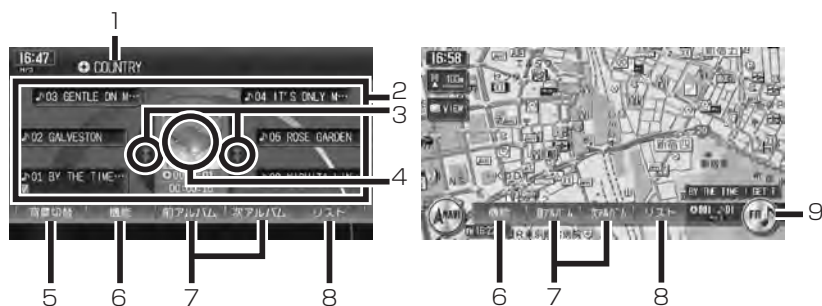
お知らせ

- ・本機で対応しているファイルについては、「対応メディア・対応ファイルについて」(P.444)をご覧ください。



オーディオ画面








ナビ画面



1	アルバム名称	現在再生中のアルバム名表示 タッチすると、スクロールします。
2	トラックキー	再生中のアルバムにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを先頭に表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する (P.152)
6	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生、新しい音楽データの取り込みをするための機能メニューを表示する (P.257)
7	前アルバム、次アルバム	再生するアルバムを切り替える

8	リスト	アルバム／トラックリストを表示する
9	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（FR）表示 タッチすることにより、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

 お知らせ

- 1曲ずつ選曲するときは、 および  を押します。 を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。 を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に  を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、（早送り）および （早戻し）を押し続けて行います。
- 低ビットレート時のMP3再生中の早送り／早戻しは、再生ファイルの容量が小さいため、スピードが早くなります。
- MP3/WMA/AACのファイル名称には、拡張子は表示されません。
- FILE RACKに何も録音されていない場合は、「NO FILE 取り込まれた音楽データがありません」と表示されます。

再生する

1 を押す

2 をタッチする

再生が始まります。



- ・ 音楽データが本機に取り込まれていない場合は、取り込みの確認画面が表示されます。
「FILE RACKにデータを取り込む」(P.250) を参照して、音楽データを取り込んでください。

いろいろな再生方法

リストから選んで再生する

アルバム／トラックリストから、ダイレクトに曲を選択できます。



1 聴きたいアルバム名を選択してタッチする



選択したアルバムの先頭から再生がはじまります。

聴きたいトラックを指定する場合は、手順2へお進みください。

2 聴きたいトラック名を選択してタッチする



選択したトラックから再生がはじまります。



- ◀▶ または ▶▶ を押して、表示されているトラックを選択することもできます。



アルバム番号を選んで再生する

アルバム番号を入力して、目的のアルバムを検索します。



1 アルバム番号を入力して **決定** をタッチする

入力した番号を先頭にしたアルバムリストが表示されます。

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。



トラック番号を選んで再生する

トラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。



1 トラック番号を入力して **決定** をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

2 聴きたいトラックをタッチする

選択したトラックから再生が始まります。



リピート、スキャン、ランダム再生をする

アルバムやトラックのリピート、スキャン、ランダム再生のしかたについて説明します。



ここまでの操作

機能

1 目的の項目をタッチし、☒閉じるをタッチする



- TRACK

(REPEAT) : 現在再生中のトラックのみをリピート再生します。
- TRACK

(SCAN) : 現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
- 1ALBUM

(RANDOM) : 現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。
- ALBUM

(REPEAT) : 現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。
- ALBUM

(SCAN) : 各アルバムの先頭トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
- ALL TRACK

(RANDOM) : 全アルバムの全トラックをランダムに再生します。

選択した動作での再生が始まります。

2 通常の再生に戻るときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

選択を解除し、再生中のアルバムまたはトラックから通常の再生になります。



- 選曲操作をすると、スキャン再生は解除されます。



情報を表示する

トラックの情報を表示する

再生中のトラックのアルバム名、トラック名、アーティスト名を表示します。

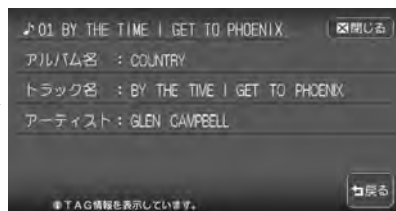


ここまでの操作

リスト ▶▶▶ [目的のアルバム]

1 情報を見たいトラックをタッチする

2 TAG 情報をタッチする



トラック情報画面が表示されます。

▶ END ◀

TAG情報を表示する

オーディオ画面のタイトル表示部にTAG情報を表示できます。リスト画面の表示は変わりません。

TAG情報がある場合は、優先的に表示できます。TAG情報がない場合は、「タイトルなし」と表示します。

お知らせ

- TAG優先設定時は、オーディオ画面には現在再生中のトラックにのみトラック名とアーティスト名が表示されます。その他のトラックにはトラック番号のみ表示されます。アルバム名には、再生中のトラックのTAGにあるアルバム名が表示されます。また、トラックキー・アルバム名称部にTAGアイコンが表示されます。

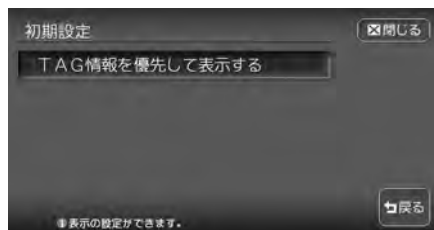


ここまでの操作

機能

1 初期設定 をタッチする

2 TAG情報を優先して表示する をタッチする



チェックマークが表示され、タイトル表示部にTAG情報が表示されます。



アドバイス

- TAG優先表示を解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。

END

アルバム・トラックを編集する

不要なアルバムを削除する



- 1** **アルバム削除** をタッチする
アルバムリスト画面が表示されます。
- 2** 削除したいアルバムをタッチする
- 3** **決定** をタッチする
- 4** **はい** をタッチする
選択したアルバムが削除されます。



不要なトラックを削除する



ここまでの操作

リスト

▶▶▶ [編集したいアルバム]

1

トラック削除 をタッチする

トラックリスト画面が表示されます。

2

削除したいトラックをタッチする

3

決定 をタッチする

4

はい をタッチする

選択したトラックが削除されます。

▶ END ◀



お知らせ

- アルバムの中のトラックがすべて削除されると、アルバムリストからそのアルバム自体が削除されます。

Memo

USBメモリーの オーディオを聴く

別売のUSB接続コードをつないで、お手持ちのUSBメモリー内のMP3/WMA/AACファイルを本機で再生することができます。
本機でのUSBメモリーの再生方法や設定などの操作について説明します。

目次

USBの接続と取り外し	264
画面表示とタッチキーについて	267
再生する	269

USBの接続と取り外し

別売のUSB接続コードを接続することにより、パソコンからUSBメモリーにMP3/WMA/AAC形式で編集された音楽データを、本機で再生することができます。

USBメモリーを接続する

1 USB接続コードにUSBメモリーを接続する

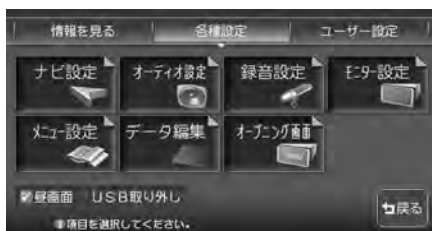
USBメモリーが自動的に認識されます。

▶ END ◀

USBメモリーを取り外す

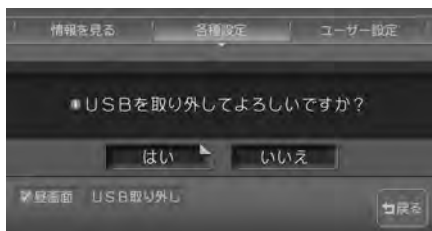
1 を押し、**各種設定** をタッチする

2 **USB取り外し** をタッチする



確認のメッセージが表示されます。

3 **はい** をタッチする



USBメモリーを取り外します。

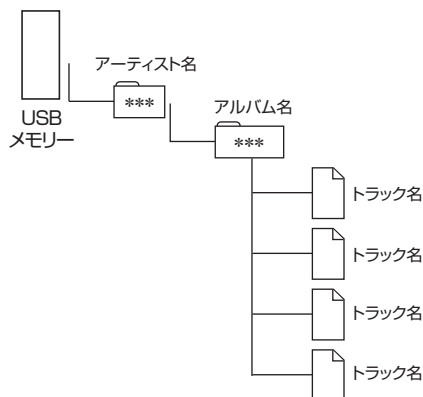
▶ END ◀

**お願い**

- USBメモリーは必ず左記の手順で取り外してください。左記の操作をせずに取り外すと、USBメモリー内のデータが破壊されるおそれがあります。

音楽データの保存方法について

USBメモリーには、次のようなイメージで音楽データが保存されている必要があります。この構成以外のフォルダに存在する音楽データは再生できません。



- アーティスト名、アルバム名、トラック名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

**お知らせ**

- USBメモリーに保存できる音楽データの最大数は、SDメモリーカードと同じです。詳しくは、「MP3・WMA・AACの記録メディアについて」(P.448)をご覧ください。
- 音楽データを保存する際の注意事項は、SDメモリーカードの場合と同様です。詳しくは、「MP3・WMA・AACの記録メディアについて」(P.448)のお知らせをご覧ください。

USBメモリーについて

- マスストレージクラスのUSBフラッシュメモリー（USBメモリーデバイス）に対応しています。
- 下記のようなUSBメモリーには対応していません。
 - ・パーティションが複数あるUSBメモリー
 - ・電流が500mAを超えるUSBメモリー
 - ・パソコンに接続した際、ドライバを要求されるUSBメモリー
 - ・セキュリティ機能など、特殊な機能が付いているUSBメモリー
 - ・SONY製Walkmanには非対応
 - ・その他一部再生できないマスストレージクラスのUSBフラッシュメモリーがあります。
- USBメモリーに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- USBメモリーの音楽再生中にUSBメモリーを取り外さないでください。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリーの保存内容が失われる恐れがあります。消失した音楽データについては補償できませんので予めご了承ください。
- iPodおよびiPhoneには対応していません。

画面表示とタッチキーについて

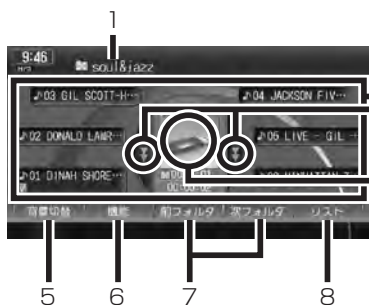
画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

お知らせ

- ・本機で対応しているファイルについては、「対応メディア・対応ファイルについて」(P.444)をご覧ください。



オーディオ画面




ナビ画面










1	フォルダ名称	現在再生中のフォルダ名表示 タッチすると、スクロールします。
2	トラックキー	再生中のフォルダにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3		タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを表示させる
5		画面の背景をお好みの表示に設定する (P.152)
6		リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する (P.207)
7	、	再生するフォルダを切り替える



8	 リスト	フォルダリストを表示する
9	オーディオコントロールキー	現在選択されているソース（USB）表示 タッチすることにより、オーディオコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

 お知らせ

- 1曲ずつ選曲するときは、 および  を押します。 を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。 を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に  を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、（早送り）および （早戻し）を押し続けて行います。
- 低ビットレート時のMP3再生中の早送り／早戻しは、再生ファイルの容量が小さいため、スピードが早くなります。
- MP3/WMA/AACのファイル名称には、拡張子は表示されません。
- USBメモリー内のファイルは、ファイル名順でのみ再生できます。再生順序を変更することはできません。ただし、ファイル名の先頭に数字を入力すれば、数字順に並べ替えることができます。

再生する

1 USB接続コードにUSBメモリーを接続する

2 **SOURCE** を押す

3  をタッチする

USBメモリーの再生が始まります。

▶ END ◀

 お知らせ

- すでにUSBモードになっている場合は、自動的に再生が始まります。

以降の操作は、SDメモリーカードからの再生と同様です。

下記のページを参照して操作を行ってください。

- フォルダ／トラックリストからダイレクトに選曲する…P.205
- フォルダ番号／トラック番号を選んで再生する…P.206
- リピート、スキャン、ランダム再生をする…P.207
- トラックの情報を表示する…P.209
- TAG情報を表示する…P.210

Memo

各種設定

ナビゲーションに関するいろいろな操作、オーディオの音質、画面表示の色や画質などを、お好みで設定することができます。

目次

ナビゲーションの設定をする	272
OPTIONボタンの操作方法	305
音質を設定する	307
映像を設定する	327
ユーザーを設定する	330
画面の表示色を設定する	338
オープニング画面を設定する	339

ナビゲーションの設定をする

本機のナビ設定は、設定メニューから行います。



- ・ナビゲーション画面時のみ、設定できます。

ナビ設定メニューは、以下の方法で表示されます。






1  を押し、 **各種設定** をタッチする





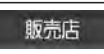
2  をタッチする

3 設定したい項目をタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
	ナビゲーション画面に関する設定を行う	P.274
	地図上に示されるアイコンに関する設定を行う	P.276
	地図上に示される軌跡に関する設定を行う	P.278
	ルート誘導時の画面表示に関する設定を行う	P.282
	ルート誘導中の案内表示に関する設定を行う	P.284

タッチキー	設定の内容	参照ページ
	音声案内に関する設定を行う	P.287
 	VICS情報に関する設定と別売のETC車載器接続時の設定を行う	P.290 P.303
	その他、便利な設定を行う	P.294
	使用できません。(販売店専用の画面です。)	—

4 希望の設定値をタッチする



*画面は、手順3で  をタッチした場合です。

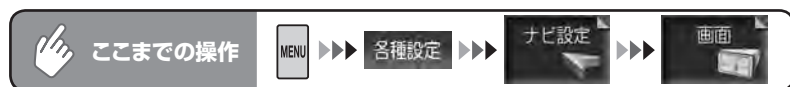
設定した項目のチェックマークが表示され、設定が確定されます。

設定終了後は、 をタッチすると現在地画面に戻ります。

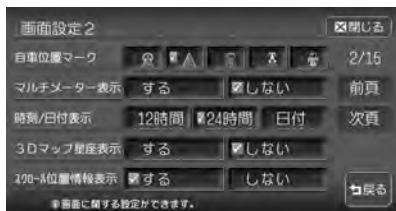
END

画面の設定をする

自転車位置マークなど、画面表示に関する設定ができます。



画面設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

画面設定項目一覧

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
昼画面／夜画面の地図色	昼画面、夜画面（車のスモールランプ点灯時）の市街地図／通常地図の表示色を4色から選択する	昼画面： 市街地図：地図色1*～4 通常地図：地図色1*～4 夜画面： 市街地図：地図色1～4* 通常地図：地図色1～4*	P.275
地図表示選択	地図画面に表示する文字の大きさや文字の情報を選択する	標準*／注記量少／大きな文字	P.275
一般道／有料道の経路色	一般道および有料道での誘導ルートの色を5色から選択する	黄*（一般道）／緑*（有料道）／オレンジ／紫／青	—
自転車位置マーク	地図画面に表示される自転車位置マークを5種類から選択する		—
マルチメーター表示	走行速度や平均速度などの表示／非表示を切り替える	する／しない*	クイックガイド P.47
時刻／日付表示	時刻／日付の表示形式を選択する 日付を選択した場合、VICS情報提供時間などは、変更前の設定で表示されます。	12時間／24時間*／日付	—

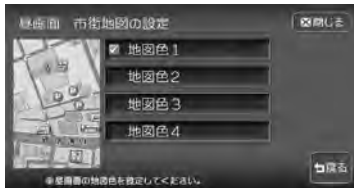
設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
3Dマップ星座表示	3D地図の空に、星座や月を表示させる	する／しない*	クイックガイド P.47
スクロール位置情報表示	スクロール先の地点の住所、緯度・経度、マップコードの表示／非表示を切り替える	する*／しない	P.18

昼画面／夜画面の地図色を設定する



1 [昼画面の地図色] または [夜画面の地図色] の **市街(色1)** または **通常(色1)** をタッチする
() 内には、現在設定している地図色番号が表示されています。

2 変更したい地図色を選択してタッチする



画面左側に選択した地図色の地図が表示されます。

※画面例は昼画面の市街地図です。

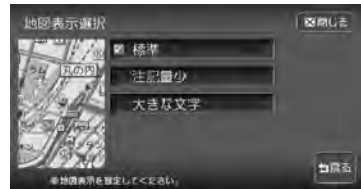
▶ END ◀

地図の表示方法を設定する



1 **表示選択 (標準)** をタッチする

2 変更したい項目をタッチする



標準 : 文字の大きさと情報量を標準に設定します。

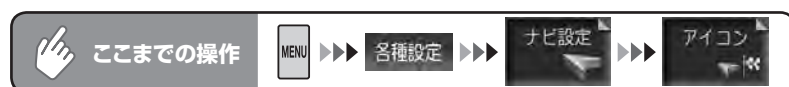
注記量少 : 文字の大きさを標準に、文字の情報量を少なく設定します。

大きな文字 : 文字を大きく、文字の情報量を少なく設定します。

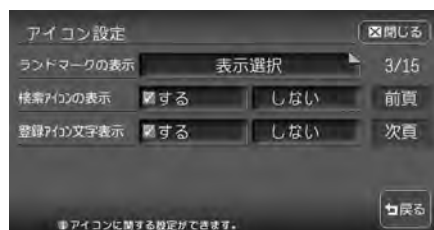
▶ END ◀

地図上のアイコンの設定をする

ランドマークの表示など、地図上に示されるアイコンに関する設定ができます。



アイコン設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

アイコン設定項目一覧

※は工場出荷時の初期設定です。

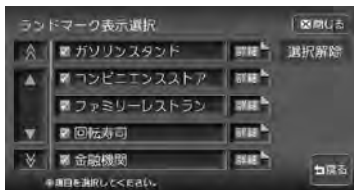
設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
ランドマークの表示	地図上に表示されるランドマークの種類を選択する	初期設定では以下がオフに設定されています。 ・その他のコンビニエンスストア ・ファーストフード	P.277
検索アイコンの表示	周辺検索 (P.60) で検索した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える	する* / しない	—
登録アイコン文字表示	登録アイコンに表示される名称の表示／非表示を切り替える	する* / しない	—

ランドマーク表示を設定する



1 [ランドマークの表示] の
表示選択 をタッチする

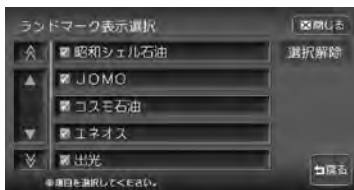
2 表示したいジャンルを選択して
タッチする



選択したジャンルのチェックマーク
が表示されます。

3 選択したジャンルの 詳細 を
タッチする

4 表示したいブランドを選択して
タッチする



選択したブランドのランプが点灯し
ます。

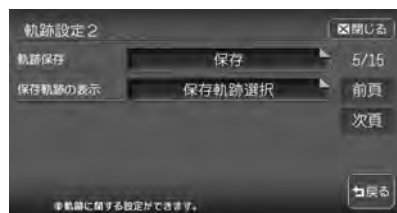


走行軌跡の設定をする

軌跡（今までに走行した道のりの表示）に関する設定ができます。



軌跡設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

軌跡設定項目一覧

※は工場出荷時の初期設定です。

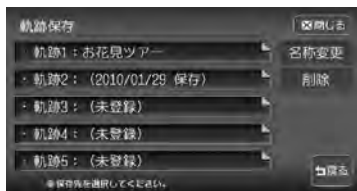
設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
軌跡の表示	軌跡の表示／非表示を切り替える	する [*] ／しない	クイックガイド P.46
軌跡の間隔	軌跡の間隔を設定する 軌跡のポイントは2,000を超えると古いものから順に消去されますので、軌跡の間隔を長くすると、長い距離の軌跡表示が可能になります。	50m / 100m / 200m [*] / 500m	—
軌跡マーク	軌跡マークを5種類から選択する	(青) [*] (赤)、 (緑)、 (紫)、 (足跡)	—
軌跡の消去	軌跡の記録を消去する 軌跡の記録を消去すると、再表示はできません。	—	—
軌跡保存	表示している軌跡を、名前を付けて5つまで保存する	—	P.279
保存軌跡の表示	保存している軌跡を表示する	—	P.280

軌跡を保存する



1 [軌跡保存] の **保存** をタッチする

2 軌跡を保存したい場所を選択してタッチする



すでに保存している軌跡があれば、上書きされます。

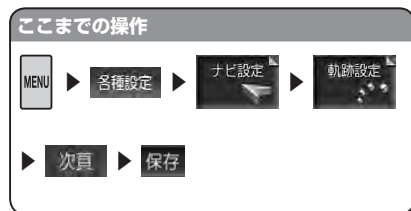
名称を入れなければ、保存した日付が表示されます。



- アドバイス**
- 保存されるのは、本機に登録されている全ての軌跡です。

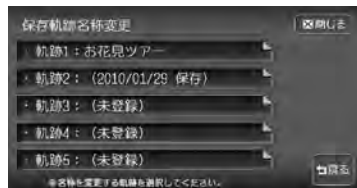
▶ END ◀

軌跡に名称を付ける



1 **名称変更** をタッチする

2 名称を変更したい軌跡を選択してタッチする

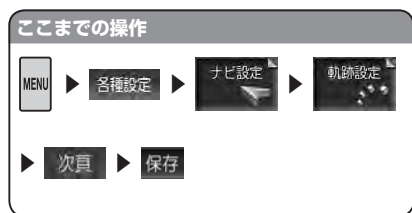


3 名称を入力して **決定** をタッチする

名称を入れなければ、保存した日付が表示されます。

▶ END ◀

軌跡を削除する



1 **削除** をタッチする

2 削除したい軌跡を選択してタッチする



3 **決定** をタッチする

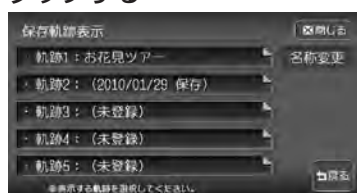


軌跡を表示する



1 **[保存軌跡の表示]** の **保存軌跡選択** をタッチする

2 表示したい軌跡を選択してタッチする



地図上に選択した軌跡が表示され
ます。

3 **決定** をタッチする

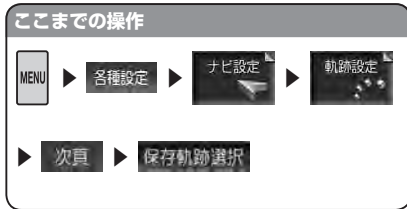


軌跡の表示が設定されます。

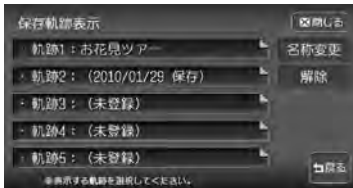


軌跡表示を解除する

表示されている軌跡の表示設定を解除します。



1 解除 をタッチする



確認メッセージが表示されます。

2 はい をタッチする

保存軌跡の表示が解除されます。

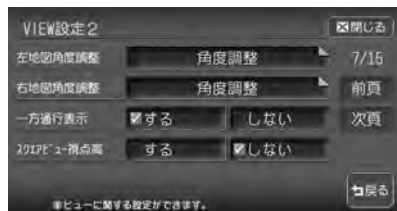
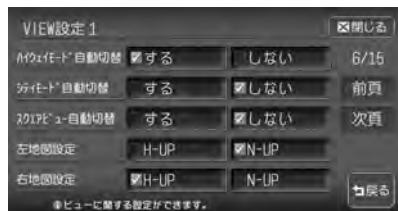


走行中の地図の設定をする

スクエアビュー表示や3Dマップ角度調整など、ルート誘導時の画面表示に関する設定ができます。



VIEW設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

VIEW設定項目一覧

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
ハイウェイモード自動切替	ハイウェイモードの自動表示／非表示を切り替える	する [*] ／しない	P.27
シティモード自動切替 ^(*)	シティモードの自動表示／非表示を切り替える	する／しない [*]	P.30
スクエアビュー自動切替 ^(*)	スクエアビューの自動表示／非表示を切り替える	する／しない [*]	P.30
左地図／右地図設定	1画面表示時の地図（2画面表示時の左地図）／2画面表示時の右地図の表示方法を選択する	H-UP [*] （右地図）：進行方向を上向きに表示 N-UP [*] （左地図）：北方向を上向きに表示	P.26
左地図／右地図角度調整	1画面表示時の地図（2画面表示時の左地図）／2画面表示時の右地図の3Dの視点を設定する	レベル1～21（レベル6 [*] ）	P.283
一方通行表示	一方通行の道に矢印を表示する	する [*] ／しない	P.24
スクエアビュー視点高	スクエアビュー表示時の視点を高い位置から表示させる	する／しない [*]	P.30

(*) シティモード自動切替、スクエアビュー自動切替の両方が「する」の場合は、スクエアビュー表示が優先されます。

左地図／右地図角度調整 (3Dマップ角度調整)

ここまでの操作



- 1 [左地図角度調整] または、
[右地図角度調整] の
[角度調整] をタッチする
角度設定画面が表示されます。

- 2 [高] または [低] をタッチ
して視点を変更する

● 視点を高くした場合

視点が上がります。

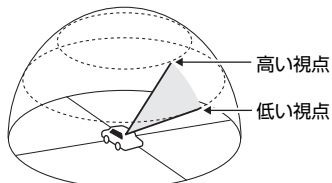


視点が下がります。

● 視点を低くした場合



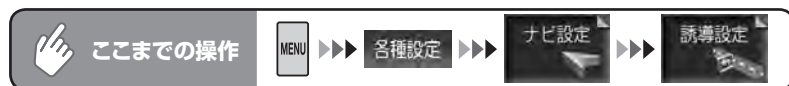
3Dマップ角度イメージ



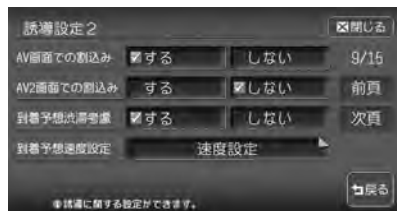
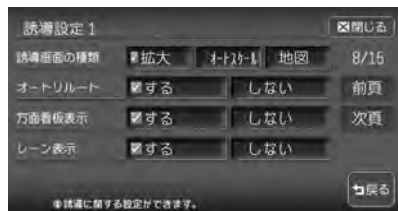
▶ END ◀

ルート案内の設定をする

方面看板表示など、ルート誘導中の画面表示に関する設定ができます。



誘導設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

誘導画面設定項目一覧

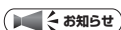
※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
誘導画面の種類	ルート誘導中の、交差点および都市高速道路入口での表示案内画面を設定する	拡大* オートスケール 地図	—
オートリルート	ルート誘導中、ルートを間違えたときに、自動的に元のルートに戻るよう再設定する	する*/しない	—
方面看板表示	方面看板案内の表示/非表示を切り替える	する*/しない	—
レーン表示	レーンガイドの表示/非表示を切り替える	する*/しない	—
AV画面での割込み(*)	オーディオ画面表示中の交差点案内割込表示/非表示を切り替える	する*/しない	—
AV2画面での割込み(*)	AV2画面表示中の交差点案内割込表示/非表示を切り替える	する/しない*	—
到着予想渋滞考慮	到着予想時間の計算時、渋滞の統計データを(**)考慮して計算するかしないかを設定する 「する」を設定すると次のようになります。 ・「到着予想速度設定」は考慮されません。 ・別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続している場合、ビーコン情報も考慮された到着予想時間が計算されます。	する*/しない	—
到着予想速度設定	到着予想時間の計算時に基準となる速度を設定する 「到着予想渋滞考慮」を、「しない」に設定した場合に有効となります。	高速道： 60～100km/h(80*) 有料道： 40～80km/h(60*) 一般道： 20～60km/h(30*)	P.286

(*) 画面がOFFの状態でも交差点案内は表示されます。

(**) 渋滞の統計データとは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

到着予想速度設定



- ・到着予想渋滞考慮を「する」に設定している場合、到着予想速度設定を変更することはできません。到着予想速度設定をする場合は、到着予想渋滞考慮を「しない」に変更してください。



1 「到着予想速度設定」の速度設定をタッチする

2 ▲または▼をタッチして各速度を変更する



高速：高速道走行時の速度を60～100km/hに設定できます。

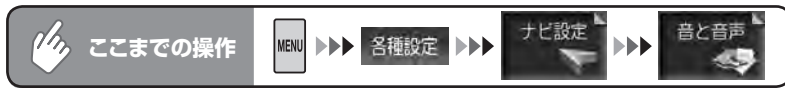
有料：有料道走行時の速度を40～80km/hに設定できます。

一般：一般道走行時の速度を20～60km/hに設定できます。

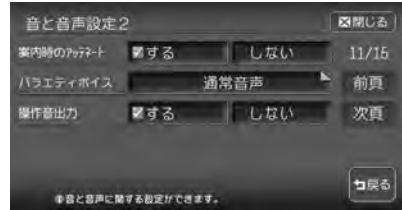
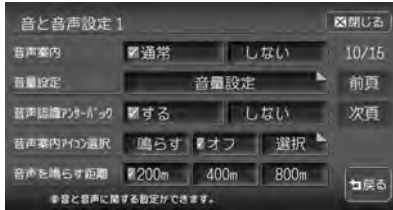


音声案内の設定をする

音声案内に関する設定ができます。



音と音声設定メニュー



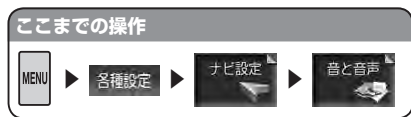
以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

音と音声設定項目一覧

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
音声案内	音声案内などのナビゲーション音声を、出力するかしないかを設定する 「しない」を選択しても、目的地到着案内・渋滞・規制の音声案内は行います。	通常 [*] ／しない	—
音量設定	音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する	レベル1～15 (通常走行：レベル8 [*] 高速走行：レベル10 [*])	P.289
音声認識アンサーバック	ボイスコントロール時の音声による確認 (P.363) を設定する	する [*] ／しない	—
音声案内アイコン選択	登録地点のアイコンに近づいたときの、音声案内を設定する	鳴らす：音声案内をします。 オフ [*] ：音声案内をしません。 選択：音声案内をするアイコンを指定します。	—
音声を鳴らす距離	音声案内を行うアイコンと、自転車位置の距離を設定する	200m [*] ／400m／800m	—
案内時のアッテネート	音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる	する [*] ／しない	—
バラエティボイス	音声案内を4種類の中から選択する	通常音声 [*] ／簡易音声 ／関西弁／英語	P.289
操作音出力	ボタン・タッチキー操作時にピープ音を鳴らすかどうかを設定する	する [*] ／しない	—

音量を調整する



1 音量設定をタッチする

2 ▲または▼をタッチして各音量を調整する



設定した音量で、「この音量でご案内します」と音声案内します。

アドバイス

- ・ 高速走行時と通常走行時の音量切り替えは、時速80km/hを目安に行われます。

▶ END ◀

バラエティボイス

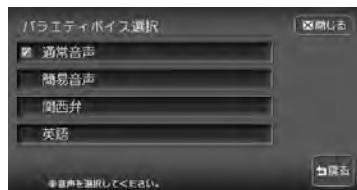
関西弁および英語は、交差点の進行方向を中心に音声案内を行います。交差点名・ランドマーク名・方面名称・道路名については音声案内を行いません。

簡易音声は、通常音声における音声案内の一部を省略した内容で案内を行います。ただし、簡易音声に設定しても、通常音声と変更のない音声案内もあります。



1 [バラエティボイス] に表示されている音声をタッチする

2 案内させたい音声を選択してタッチする



選択した音声のチェックマークが表示されます。

▶ END ◀

VICS情報の設定をする

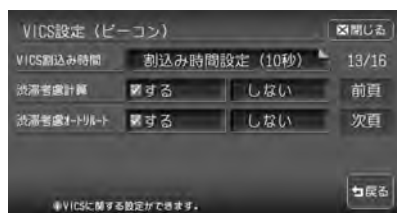
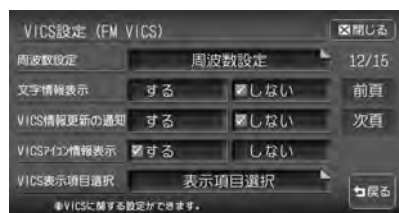
VICS情報に関する設定ができます。

お知らせ

- ・ VICS設定（ビーコン）の画面は、別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。



VICS設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

VICS設定項目一覧

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
周波数設定	VICS情報やFM多重放送の受信放送局を設定する	自動追尾 [※] / OFF	P.292
文字情報表示	受信したVICS文字情報の表示／非表示を切り替える	する／しない [※]	P.36
VICS情報更新の通知	VICS情報を更新したときに、音声でお知らせするかしないかを設定する	する／しない [※]	—
VICSアイコン情報表示	地図上にVICSアイコンの情報を表示するかしないかを設定する	する [※] / しない	P.36
VICS表示項目選択	VICS情報を表示する項目を選択する	一般道交通情報の表示 [※] / 高速道交通情報の表示 [※] / 渋滞なしの表示 / 駐車場情報の表示 [※] / 規制区間の表示 [※]	P.292
VICS割込み時間 ^(*)	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報を、画面に割込表示する時間を設定する	OFF / 5秒 / 10秒 [※] / 20秒 / 30秒	P.293

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
渋滞考慮計算 ^(*)	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報をもとに、渋滞箇所を考慮したルートを計算する	する*/しない	—
渋滞考慮オートリルート	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報をもとに、オートリルートを行う	する*/しない	—

(*) 別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時のみ設定できます。

FM周波数の設定



1 **周波数設定** をタッチする

2 放送局を選択してタッチする



周波数が切り替わります。タッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に検出します。

自動追尾 :

NHK-FM受信中は、放送エリア外に出た場合でも、そのエリアのNHK-FMを自動的に受信します。初期設定はON (チェックマーク表示) です。NHK-FM以外の放送局を受信すると、OFFになります。

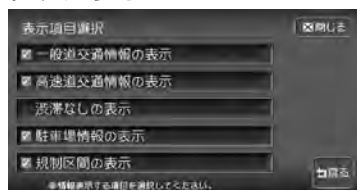


VICS表示項目選択



1 [VICS表示項目選択] の **表示項目選択** をタッチする

2 表示させたい項目を選択してタッチする



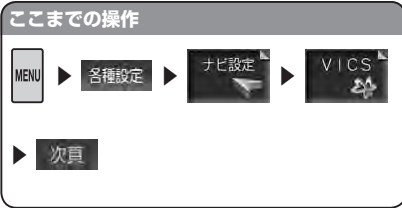
選択した表示形式のチェックマークが表示されます。



VICS割込時間（ビーコン）



- この設定を「OFF」にすると、ビーコンVICS情報は割り込み表示されません。



1 [VICS割込み時間] の
割込み時間設定 (10秒) をタッチ
する

2 表示させたい時間を選択して
タッチする



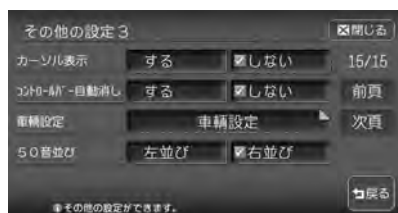
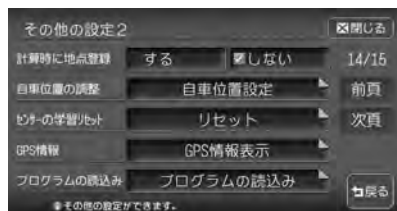
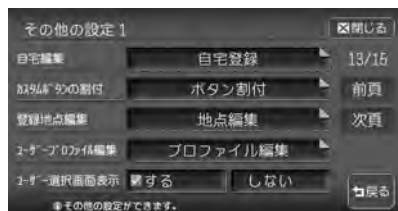
選択した時間のチェックマークが表示されます。



その他の設定をする（自宅編集・登録地点編集・自転車位置の調整・カーソル表示…）



その他の設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

その他設定項目一覧

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
自宅編集	登録されている自宅の場所を変更する編集方法については、「 まずは、自宅を登録しよう 」(クイックガイド P.48)の手順5以降をご覧ください。	—	—
カスタムボタンの割付	よく使う機能を、8個までカスタムボタンに割り付ける 割り付けた機能は、ナビゲーション操作メニューの カスタム から簡単に呼び出すことができます。	初期設定では以下の項目が割り付けられています。 <ul style="list-style-type: none"> 音量設定 音声案内 VICS表示項目選択 文字情報表示 誘導画面の種類 検索アイコン表示 	P.298
登録地点編集	登録地点の編集、削除、グループ編集、マイリスト編集をする [登録地点編集]の 地点編集 をタッチした後に、下記項目をタッチして編集してください。 <ul style="list-style-type: none"> データ編集 グループ編集 マイリスト編集 地点削除 	— — — —	— P.56 P.58 P.54 P.59
ユーザープロフィール編集	ユーザープロフィールの編集やユーザーの削除をする [ユーザープロフィール編集]の プロフィール編集 をタッチした後に、下記項目をタッチして編集/削除してください。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー編集 ユーザー削除 	— —	— P.334 P.333
ユーザー選択画面表示	エンジンをかけた後のユーザー選択画面の表示/非表示を切り替える	する*/しない	P.330
計算と同時に地点登録	目的地までのルートの設定と同時に、目的地を登録するかしないかを設定する	する/しない*	—
自車位置の調整	自車位置を修正する	—	P.300



ナビゲーションの設定をする

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
センサーの学習リセット	距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化（リセット）する	—	P.301
GPS情報	GPSの受信状況を表示する	—	P.301
プログラムの読み込み	将来的に、SDメモリーカードによりプログラムのバージョンアップが必要なときに使用する	—	—
カーソル表示	画面上で、現在選択されている項目をハイライト表示する	する／しない*	P.297
コントロールバー自動消し	ナビゲーション／オーディオコントロールバーの表示を自動的に消すかどうかを設定する	する／しない*	—
車輻設定	本機を使用する車両を4種類の中から選択する	軽車輻／小型車輻*／普通車輻／特定車輻	P.302
50音並び	文字入力画面の並び方を左右どちらかに切り替える	左並び／右並び*	P.297

カーソル表示画面

しない を選択しても、画面によっては項目がカーソル表示されることがあります。



選択中の項目がハイライトで表示されます。

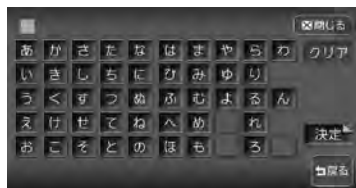


ハイライト表示はありません。

文字入力画面の並び方

文字入力画面で、文字列が左右どちらから始まるかを設定できます。

左並び を選択した場合
文字列が左始まりになります。



右並び を選択した場合
文字列が右始まりになります。



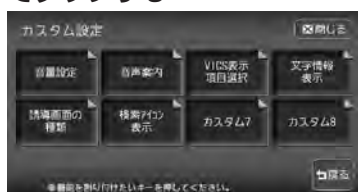
各種設定

カスタムボタンの割付

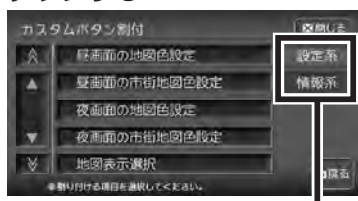


1 [カスタムボタンの割付] の
ボタン割付をタッチする

2 割り付けたいボタンを選択して
タッチする



3 割り付ける機能を選択して
タッチする



割り付ける機能を絞り込むことができます。

選択した機能のチェックマークが表示され、カスタムボタン割付画面に戻ります。



■カスタムボタンに割り付けられる機能一覧表

設定系	昼画面の地図色設定	左地図設定	操作音出力
	昼画面の市街地図色設定	右地図設定	文字情報表示
	夜画面の地図色設定	3Dマップ角度調整	VICS情報更新の通知
	夜画面の市街地図色設定	右地図3Dマップ角度調整	VICSアイコン情報表示
	地図表示選択	一方通行表示	VICS表示項目選択
	一般道の経路色選択	スクエアビュー視点高	VICS割込み時間 ^{※2}
	有料道の経路色選択	誘導画面の種類	渋滞考慮計算 ^{※2}
	自転車位置マーク設定	オートリルート	渋滞考慮オートリルート ^{※2}
	マルチメーターの表示	方面看板表示	ユーザー選択画面表示
	時刻表示の選択	レーン表示	計算と同時に地点登録
	3Dマップ星座表示	AV画面での割込み	コントロールバー自動消し
	スクロール位置情報表示	AV2画面での割込み	ETC音声ガイド ^{※3}
	検索アイコンの表示	到着予想渋滞考慮	ETCカード入れ忘れ警告 ^{※3}
	登録アイコン文字表示	到着予想時間速度設定	ETC本体ブザー音 ^{※3}
	軌跡の表示	音声案内	ETCアイコン表示 ^{※3}
軌跡の間隔	音量設定	ETC割込み時間 ^{※3}	
軌跡マーク	音声認識アンサーバック	50音の並び設定	
ハイウェイモード自動切替	音声案内アイコン選択 ^{※1}	メニュー設定	
シティモード自動切替	音声を鳴らす距離	検索アイコン消し	
スクエアビュー自動切替	案内時のアッテネート		
情報系	FM多重文字情報	NHK所要時間	ビーコン図形情報 ^{※2}
	FM多重図形情報	ビーコン文字情報 ^{※2}	ビーコン所要時間 ^{※2}

※1 走行中には、アイコンは選択できません。

※2 別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。

※3 別売のETC車載器接続時に表示されます。

自転車位置を調整する



1 [自転車位置の調整] の
自転車位置設定 をタッチする

2 自転車位置の移動方法を選択して
タッチする

移動のしかたは、目的地を探す場合と同様です。詳しくは「目的地を探す」(P.43) をご覧ください。

3 場所を確認して、**決定** をタッチする



4 自転車位置の方向を調整する

自転車位置の方向を、左方向に回転します。



自転車位置の方向を、右方向に回転します。

5 **決定** をタッチする

自転車位置が修正され、現在地画面に戻ります。



アドバイス

- 自転車位置修正は、可能な限り詳細地図で行ってください。

▶ END ◀

センサーの学習リセット

タイヤを交換したときや、タイヤチェーン着脱などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。

学習方法については、「**自転車位置がずれていたら**」(P.386)、「**3Dセンサーによる上下道路判定について**」(P.387)をご覧ください。



1 **「センサーの学習リセット」**の**リセット**をタッチする

2 **はい**をタッチする

学習記録が初期化されます。



GPS情報を表示する



1 **「GPS情報」**の**GPS情報表示**をタッチする



GPS情報画面が表示されます。



車両を設定する

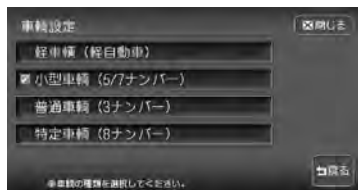
正しく設定されていないと、高速道の料金表示が正しく表示されない場合があります。

特定車両の高速道料金には対応していません。



1 車輛設定をタッチする

2 ご使用の車両を選択してタッチする



選択した車両のチェックマークが表示されます。

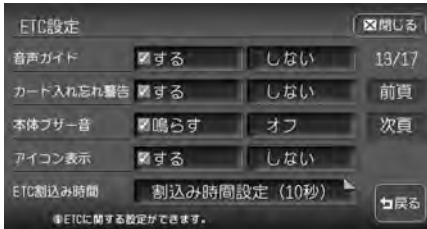
▶ END ◀

ETCの設定をする

別売のETC車載器（ナビ連動タイプ）接続時の設定ができます。



ETC設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

ETC設定項目一覧

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
音声ガイド	ゲート通過時の音声ガイドを設定する	する*：音声とメッセージ表示 しない：メッセージ表示のみ	—
カード入れ忘れ警告	エンジンをかけたときに、ETCカードが挿入されていない場合に警告をするかしないかを設定する	する*：メッセージ表示で警告 しない：警告しません	—
本体ブザー音	ETC本体のブザー音（ゲート通過時、カード挿入時、カード排出時、エンジンをかけたときにカード未挿入時）を設定する	鳴らす* / オフ	—
アイコン表示	地図上のETCアイコンの表示 / 非表示を切り替える するを選択した場合のETCアイコン表示： ETC (紫)：正常時 ETC (グレー)：カード無し、エラー時	する* / しない	—
ETC割込み時間	料金を割込表示させる時間を設定する	5秒 / 10秒* / 15秒 / 20秒 / 30秒	P.304

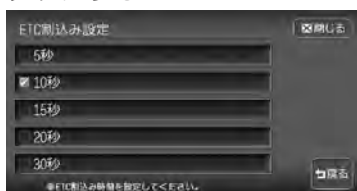
*：本機は、ETCカード有効期限切れ通知機能には対応していません。

ETC料金表示割込時間



1 [ETC割込み時間] の
割込み時間設定 (10秒) をタッチ
する

2 表示させたい時間を選択して
タッチする



選択した項目のチェックマークが表示されます。



OPTIONボタンの操作方法


OPTIONボタンを押すだけで、設定の変更や切り替えを即座に行うことができます。

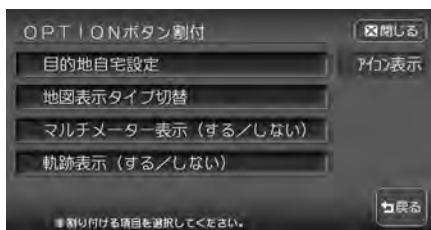
OPTIONボタンの機能変更

OPTIONボタンの機能の割付は、以下の方法で行います。

1 を押し続ける



はじめて操作する時は、 を短く押すだけでOPTIONボタン割付画面が表示されます。



OPTIONボタン割付画面が表示されます。

各種設定





2 設定したい機能をタッチして選び、 をタッチする

選択した機能が割り付けられます。




OPTIONボタンの操作

OPTIONボタンの機能は、以下のようになっています。

機能の名称	インジケータ	機能の内容
目的地自宅設定		目的地を自宅に設定し、計算条件画面を表示する
地図表示タイプ切替		押すたびに地図の表示方法が下記のように切り替わる 1画面→2画面→AV2画面→ハイウェイorシティ→スクエアビュー→ピクチャービュー ハイウェイモードは、目的地までのルート設定時、または自車が高速道路上にある場合に表示されます。シティモードおよびスクエアビューは、目的地までのルート設定時のみ表示されます。
マルチメーター表示 (する/しない)		マルチメーターの表示/非表示を切り替える
軌跡表示 (する/しない)		軌跡の表示/非表示を切り替える
アイコン表示	—	割り付けた機能のアイコンを現在地画面に表示するかしないかを設定する 別売のフロントカメラ/コーナーカメラ接続時は、カメラの状態を示すインジケータの表示/非表示を切り替えることもできます。

お知らせ

- 別売のフロントカメラ/コーナーカメラ接続時は、自動的に「カメラ映像ON/OFF」が割り付けられます。
その場合、を押し続けると他の機能を割り付けることもできます。
詳しくは、「カメラ映像を手動で映し出させる」(P.362)をご覧ください。

音質を設定する

オーディオの音に関する設定を行います。



- 最初に、スピーカーの設定を必ず行ってください。
- ここでの設定内容によっては、CDの録音スピードに影響が出る場合があります。



1 オーディオ設定をタッチする

オーディオ設定画面が表示されます。

各種設定


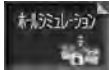



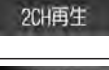



2 設定したい項目をタッチする



設定後は、**閉じる** をタッチして現在地画面に戻ります。
以降の操作については、各説明のページをご覧ください。



※は工場出荷時の初期設定です。





設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
	ドルビー設定をする	—	P.313
	音場を5つのパターンから選択し、効果を調整する	STADIUM / HALL / CLUB / CHURCH / L-ROOM / OFF* (EFFECTO~7)	P.315
	<EQ BASIC> EQを設定し、音質を変える	BASS.B / HIGH.B / ACOUSTIC / IMPACT / SMOOTH / FLAT*	P.316
	<EQ USER> EQ設定をカスタマイズして保存する	USER1~6	P.317
	<EQ設定のタイトル編集> カスタマイズしたEQ設定に名称をつける	—	P.317
	音像定位が最適になるように着座位置を選択する また、タイムアライメント調整* ¹ やスピーカーゲイン調整* ² もできます。	フロント左 / フロント右 / フロント / リア / フルシート / ユーザー / OFF*	P.318
	車両環境に合わせて車室内の音響特性を補正する	セダン* / ワゴン / ワンボックス / ミニバン / コンパクトカー / ユーザー	P.322
	5.1chのすべての音声を2ch再生させる	OFF* / ON	—
	MP3などの圧縮オーディオの再生音を原音に近づける ドルビープロロジックⅡがONの場合、この設定はOFFになります。	OFF* / ON	—
	音量バランスを設定する	BAL : L9~0*~R9 FAD : F9~0*~R9	P.326
	スピーカーのあり・なしや各種調整をする また、各スピーカーのハイパスフィルター（低音域をカットします）の周波数を調整できます。	—	P.310
VIRTUAL BASS	低音域を強調して再生させる	0*~5	—

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
車速連動音量設定	加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する	OFF / LO / MID* / HI OFF：速度が上がっても音量は変化しません。 LO→MID→HIの順で、速度上昇時の音量の上がり幅が大きくなります。	—

*1：音の到着時間の誤差をなくすために、選んだ座席位置に対して、各スピーカーからの距離を微調整できます。

*2：スピーカー出力レベルを調整できます。

お知らせ

- 設定を中止するには、設定中に  をタッチします。
- オーディオOFF中は、オーディオ設定は操作できません。
- スマートパーキングアシストシステム（駐車時に音声で案内する機能）が作動中の場合、オーディオ音声ミュートされるため、オーディオ設定は操作できません。
- 、、 はいずれか一つの設定しか選択できません。どれか一つを選択すると、他の二つの機能は自動的にOFFになります。

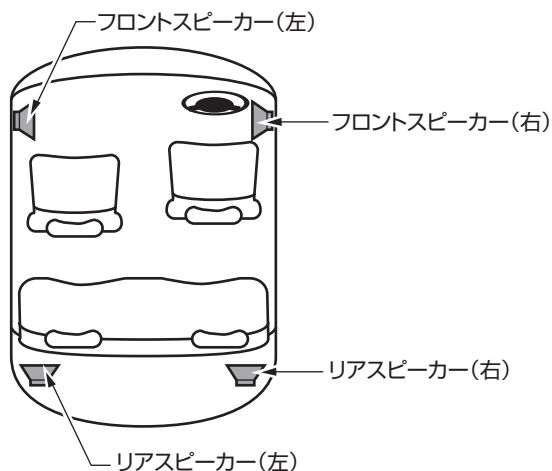
スピーカーを設定する

接続しているスピーカーのあり・なしや各種調整を行います。

ここでの設定内容と実際に装備されているスピーカーの有無や内容が異なると、音声が出力されない場合があります。必ず実際のスピーカー状況に合わせた設定を行ってください。

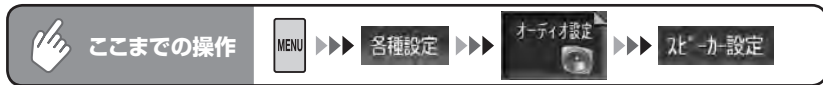
※DVDビデオなどで5.1ch音声を選択し再生した場合など（通常の4スピーカーシステム）では、ディスク（録音内容）により、スピーカーから音が出ないチャンネルがあります。これは、5.1chなどのマルチチャンネルにおける音声データが、通常のスピーカーシステムでの再生において、振り分けを禁止されているディスクによるものです。

例：[リアスピーカー接続]を「なし」に設定した場合、リアチャンネルの音声は、他のチャンネルに振り分けて出力されます。ただし、振り分けを禁止しているディスクの場合、リアチャンネルの音声はどこにも出力されません。

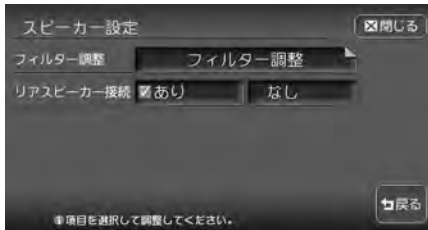


アドバイス

- 「2CH再生」(P.308) をONにすると、5.1chの音声は2chに切り替えて再生され、振り分けを禁止しているディスクでもすべての音声を出力することができます。



1 各項目を設定する



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

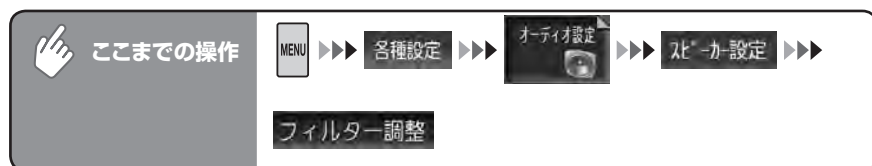
設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
フィルター調整*	各スピーカーのハイパスフィルター（低音域をカットする）の周波数を調整する	—	P.312
リアスピーカー接続	リアスピーカーの有無を設定する	あり*/なし	—

*：[リアスピーカー接続]で「なし」を選択した場合、リアスピーカーは表示されず、フィルターは調整できません。



フィルター調整をする

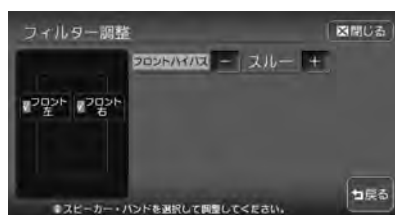
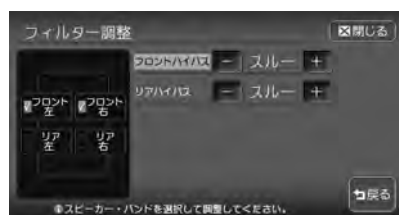
フロント（右/左）、リア（左/右）ごとにフィルターを調整できます。



1 調整するスピーカーの **-** **+** でフィルターを調整する

工場出荷時

リアスピーカー接続を「なし」にした場合



設定の内容は、以下の表をご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
フロントハイパス	フロントスピーカーのハイパスフィルター周波数を選択する	スルー*/50Hz/ 80Hz/120Hz
リアハイパス	リアスピーカーのハイパスフィルター周波数を選択する	

アドバイス

- スピーカーの口径が小さい場合は、スピーカーの低域再生能力に応じてハイパスフィルターの周波数を設定してください。スピーカーの口径が大きい場合には、設定値「スルー」のままご使用ください。

▶ END ◀

ドルビープロロジックⅡを設定する

ドルビープロロジックⅡは、2ch音声をマルチチャンネル再生します。また、マルチチャンネル音声に対しても音の補正を行い、より臨場感あふれる音を再生します。

ドルビープロロジックⅡについて

- ドルビープロロジックⅡは最新のデジタルマトリクス技術を応用し、これまでのドルビープロロジックをさらに改良したマトリクスデコード技術です。ドルビーサラウンドソースをはじめ、CDのようなステレオ音源に対しても優れたマルチチャンネル再生を実現します。
- ドルビーデジタルは、マルチチャンネルの完全独立デジタルディスクリット方式のフォーマットです。フロント3chとサラウンド2ch、低域効果音に0.1chの信号が独立した状態で記録されているため、チャンネル間のクロストークもなく、音の定位感、遠近感など忠実に再現します。

お知らせ

- ドルビープロロジックⅡをONにしても、モノラル録音ソースや圧縮オーディオなどステレオ音声成分が不足するようなソースでは、サラウンドチャンネルの効果が十分に得られず、ノイズ（または異音）に聞こえる場合があります。その場合は、ドルビープロロジックⅡをOFFにしてください。
- CDの録音中は、ドルビープロロジックⅡ機能に制限がかかることがあります。



1 Dolby PLII ON をタッチする

ドルビープロロジック II がONになり、各種設定ができるようになります。
工場出荷時 [スピーカー設定] でリアスピーカー接続を「なし」にした場合



ファントムセンター：センターチャンネルの音声を振り分けるスピーカーを設定します。

ファントムセンターをフロントに設定すると、前席の各ユーザーの正面にセンターチャンネルの音像が定位します。

また、フロント+リアに設定すると、前席および後席の各ユーザーの正面にセンターチャンネルの音像が定位します。

※1 フロント+リアに設定した場合、フロントスピーカーおよびリアスピーカーから出力される音声は2chとなります。

※2 後席に設置されたスピーカーが後席のユーザーの着座位置より後ろにある場合、フロント+リアに設定しても、センターチャンネルの音像を前方に定位させることはできません。その場合は、フロント+リアには設定しないでください。

ファントムセンター設定：**-** **+** をタッチして、センターチャンネル音声が再生される位置を調整できます。調整範囲は1～9です。センターチャンネルの音声が正面に来るように調整してください。

アドバンスドフェーダー：**-** **+** をタッチして、入力信号がフロント/リアスピーカーに振り分けられる比率を調整できます。調整範囲はR9～0～F9です。



音場を設定する（ホールシミュレーション設定）

音場を5つのパターンから選択し、効果を調整することができます。



1 お好みの音場パターンをタッチする



- STADIUM : 屋内競技場のような音場
- HALL : 広いホールのような音場
- CLUB : 低音が強調されたクラブのような音場
- CHURCH : 天井が極端に高い大聖堂のような音場
- L-ROOM : リスニングルームのような音場
- ホールシミュレーション : 効果のON / OFFを切り替える

各種設定

2 EFFECT ▲ または EFFECT ▼ をタッチし、エフェクトレベルを調整する



エフェクトレベルを調整することにより、効果の強弱を調整できます。

▶ END ◀

音質を設定する（グラフィックEQ設定<EQ BASIC>）

5つのEQ設定パターンから音質を選択できます。周波数特性の変更はできません。



1 お好みのEQ設定をタッチする



- BASS. B** : 重低音の増強
- HIGH. B** : 中高域の増強
- ACOUSTIC** : 中域（人の声）の増強
- IMPACT** : 低域と高域の増強
- SMOOTH** : しっとりとした落ち着いた感じ
- FLAT** : 原音、EQをOFF

▶ END ◀

好みの音質に調整する (グラフィックEQ設定<EQ USER>)

好みのEQパターンを設定できる機能で、6つの設定を保存しておくことができます。



1 調整したいEQ設定を選択し、**USER1 調整**をタッチする



パラメータ調整画面が表示されます。

各種設定

アドバイス

- ・ **タイトル**をタッチすると、設定にタイトルをつけることができます。

2 バーをなぞるか、をタッチして、パラメータを調整する



周波数ごとのゲイン（音の大きさ）を調整します。

調整する周波数を選択します。

3 をタッチする

EQ USER設定画面に戻ります。

NEXT

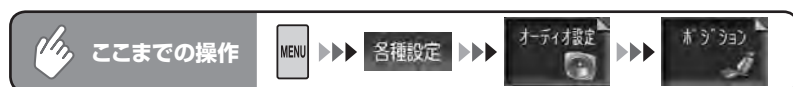
4 保存したいEQ (USER1～6) を (ピーツと音がするまで) タッチし続ける

調整したEQパターンがそのEQ設定に保存されます。

▶ END ◀

ポジションを設定する

各スピーカーからの音の到着時間と出力レベルを、座席位置に合わせて選ぶことができます。



1 基準となる座席位置をタッチする



選んだ座席のチェックマークが表示され、**ポジション ON** になります。

ユーザー は、タイムアライメント調整とスピーカーゲイン調整をお好みで調整し、保存するモードです。詳しくは、「**タイムアライメントを調整する**」(P.319)、「**スピーカーゲインを調整する**」(P.321) をご覧ください。

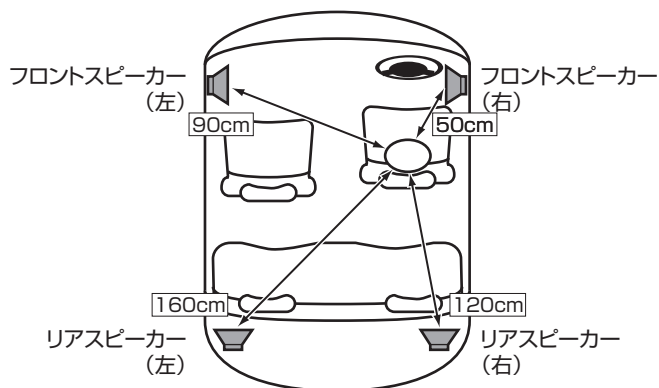
▶ END ◀

タイムアライメントを調整する

車内では、各スピーカーからリスニングポジションまでの間に、それぞれの距離差により音が到達する時間差が生じます。そのために、音像定位や位相が狂います。

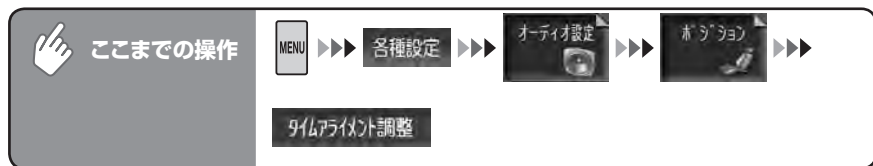
音の到着時間を補正するには、選択したポジションに対して、各スピーカーからの距離で微調整します。

下記のイラストは調整の例です。



お知らせ

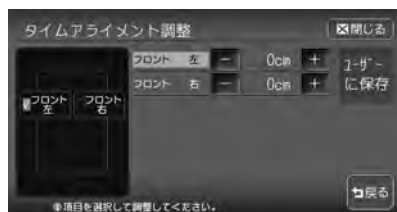
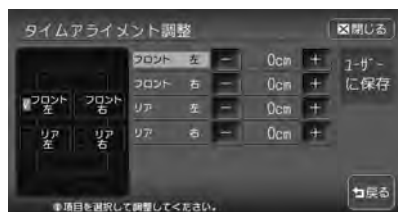
- ・ [スピーカー設定] でリアスピーカー接続を「なし」にした場合、リアスピーカーは表示されず、調整できません。



1 調整するスピーカーの **-** **+** でタイムアライメントを調整する

工場出荷時

【スピーカー設定】でリアスピーカー接続を「なし」にした場合



: タッチすることにより、5cmの単位で調整できます。
調整範囲は0～500cmです。



: 調整したタイムアライメントがユーザー定義として保存されます。ポジション設定画面で **ユーザー** を選択すると、ここでの調整を呼び出すことができます。



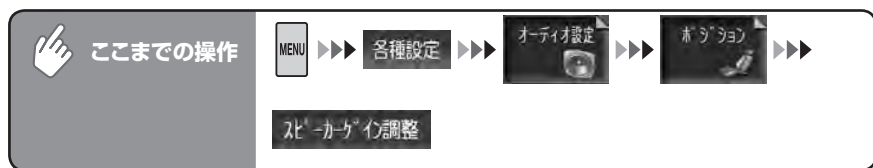
スピーカーゲインを調整する

スピーカー出力レベルを調整できます。

左右のフロントスピーカーおよびリアスピーカーの4つのスピーカーレベル出力が均一になるように調整します。

お知らせ

- ・ [スピーカー設定] でリアスピーカー接続を「なし」にした場合、リアスピーカーは表示されず、調整できません。

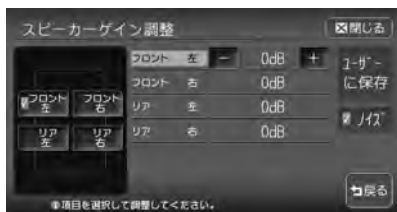


1 調整するスピーカーをタッチする

タッチしたスピーカーからテストトーンが出ます。

2 - + でスピーカーゲインを調整する

工場出荷時



[スピーカー設定] でリアスピーカー接続を「なし」にした場合



各スピーカーのテストトーンがすべて同じになるように調整します。

- + : タッチすることにより、1dBの単位で調整できます。調整単位は-6 ~ +6dBです。

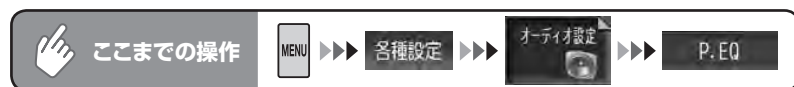
マイク : スピーカーからテストトーンが出ます。

ユーザーに保存 : 調整したスピーカーゲインがユーザー定義として保存されます。ポジション設定画面で **ユーザー** を選択すると、ここでの調整を呼び出すことができます。

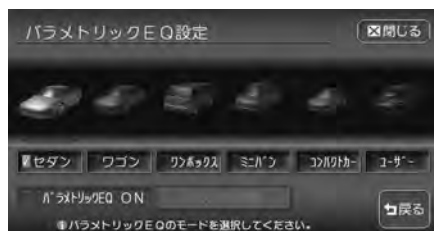
▶ END ◀

パラメトリックイコライザーを設定する

車両の環境に合わせて車室内の音響特性を補正します。



1 車種をタッチする



選んだ車種のチェックマークが表示されます。

ユーザー は、パラメーターをお好みで調整し、保存したモードです。詳しくは、「パラメーターを調整する」(P.323) をご覧ください。

2 パラメトリックEQ ON をタッチする

選んだ車種の設定がONになります。



パラメーターを調整する

選んだ車種の設定を元にして、音響特性を微調整できます。

■パラメトリックイコライザーとは

スピーカーから出力された音は車内のシートやインパネなどで吸収されたりして、音響特性は平坦ではありません。

本機ではパラメトリックイコライザー (P.EQ) で、車内の音響特性を補正します。

■調整について

スピーカーとバンドの組み合わせに対して、中心周波数・ゲイン・Qカーブを調整できます。

●フロント・リア

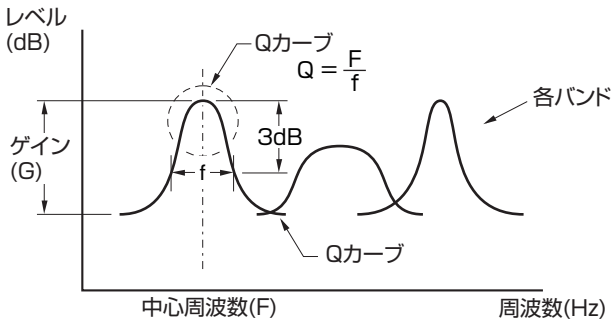
調整するスピーカーを選択します。

●BAND

調整する周波数バンド (1・2・3) を選択します。周波数バンドごとに、中心周波数・ゲイン・Qカーブの選択と設定を行います。

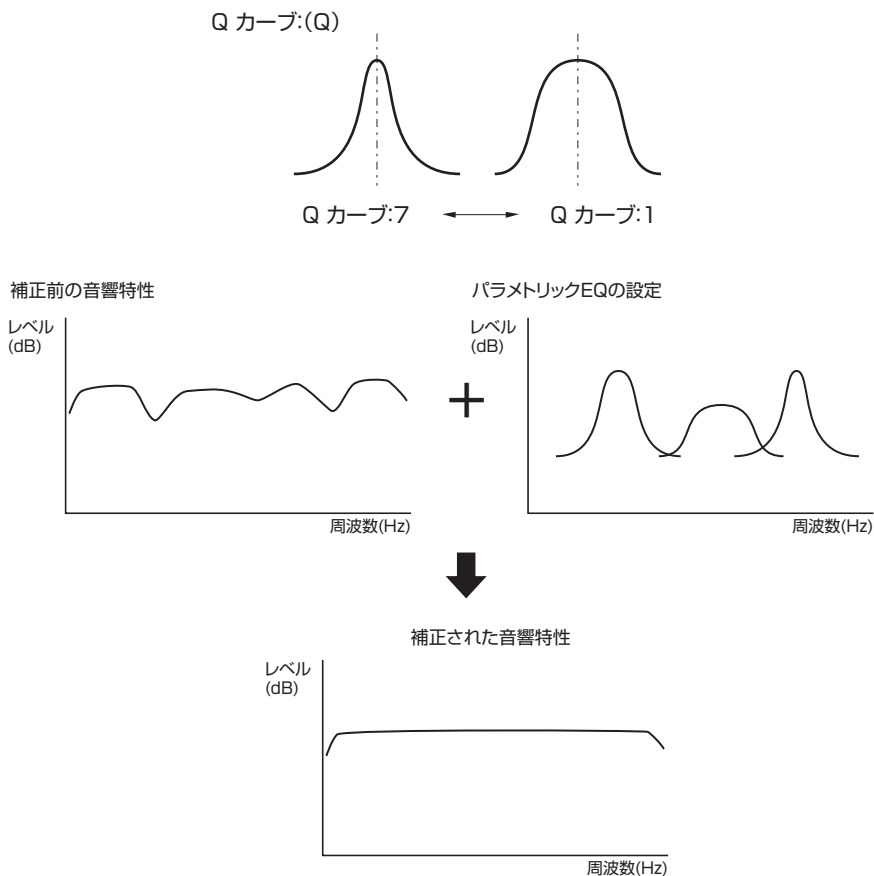
■周波数特性の補正について

中心周波数・ゲイン・Qカーブの関係は、次の表のようになっています。



Qカーブについて

Qカーブは、数値を大きくするとカーブが鋭く、数値を小さくするとカーブが緩やかになります。補正したい周波数カーブと逆のQカーブを選択することで、平坦な音響特性を作り出すことができます。





1 フロント、リアのBANDをタッチし、**-** **+** でパラメーターを調整する

工場出荷時



【スピーカー設定】でリアスピーカー接続を「なし」にした場合



[周波数] : 中心周波数 (補正したい周波数帯<バンド>の中心となる周波数) を、BAND1では20Hz ~ 20kHz、BAND2および3では125Hz ~ 20kHzの範囲で調整します。1/3オクターブずつ調整できます。

[ゲイン] : ゲイン (出力レベル) を-12dB ~ +12dBの範囲で調整します。1dBずつ、25段階で調整できます。

[Q] : Qカーブの鋭さを1、3、5、7のいずれかで設定します。

ノイズ : スピーカーからテストトーンが出ます。

ユーザーに保存 : ユーザー定義として保存され、パラメトリックEQ設定画面では、**[ユーザー]** が選ばれた状態となります。

▶ END ◀

音量バランスを調整する (BALANCE)

前後左右の音量バランスを調整できます。



1 画面左の調整エリア内をタッチしてお好みのバランス／フェダーに調整する



1ステップずつ調整することもできます。



映像を設定する

映像のモードに関する設定を行ないます。

昼画面と夜画面を切り替える

昼間にヘッドライトを点灯させていて画面が見づらいときなどに、昼画面と夜画面を手動で切り替えることができます。



1

昼画面 をタッチする



タッチするたびに昼画面と夜画面が切り替わります。

2

戻る をタッチする



- 各種設定画面で昼画面と夜画面を切り替えることもできます。



ディスプレイの明るさを調整する

ディスプレイをお好みの明るさに調整できます。

明るさは画面色（昼画面／夜画面）ごとに調整できます。



1 **モニター設定** をタッチする



2 **明** または **暗** をタッチして明るさを調整する



▶ END ◀

画質を調整する

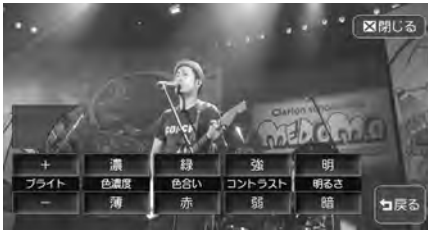
テレビやDVD、VTRなどの画質を調整できます。



- この操作はテレビ / DVD / VTR視聴時のみ行えます。



1 調整したい項目の調整キーにタッチし調整する



ブライト：明るさを調整します。**+**、**-**で設定します。

色濃度：色の濃さを調整します。**濃**、**薄**で設定します。

色合い：色味を調整します。**緑**、**赤**で設定します。

コントラスト：コントラストを調整します。**強**、**弱**で設定します。

明るさ：ディスプレイの明るさを調整します。昼画面 / 夜画面ごとに調整できます。



ユーザーを設定する

ユーザーを選択する

この操作を行うには、2人以上のユーザー登録がされていて、「ユーザー選択画面表示」を「する」に設定しておく必要があります。詳しくは「**その他の設定をする**」(P.294)をご覧ください。

1 エンジンをかける

オープニング画面の後に、ユーザー選択画面が表示されます。

2 使用するユーザーを選択する



メッセージが表示され、選択したユーザー設定に切り替わります。

お知らせ

- 約5秒間操作をしないとユーザー選択画面は消え、最後に使用したユーザー設定に設定されます。

▶ END ◀

途中でユーザーを切り替える

ドライブの途中で運転を交代したときなど、ユーザーの切り替えができます。

1 **MENU** を押し、 **ユーザー設定** をタッチする

2 使用するユーザーを選択する



メッセージが表示され、選択したユーザー設定に切り替わります。

▶ END ◀

各種設定

ユーザーを登録する

本機を使用するユーザーを登録します。

ユーザーを登録すると、以下の設定はユーザーごとに設定値が保持されます。

ナビ機能の設定（軌跡設定を除く）／マイリスト／メニュー設定／オープニング画面の設定／地図のスケール／カスタム設定／最近聴いた曲

1 **MENU** を押し、**ユーザー設定** をタッチする

ユーザー設定画面が表示されます。

2 未登録のユーザーボタンをタッチする



メッセージが表示されます。

3 **はい** をタッチする

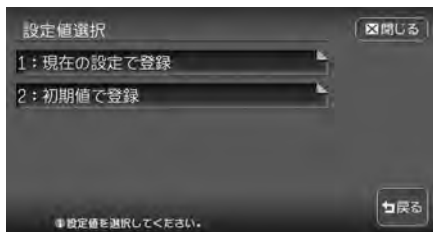
ユーザー入力画面が表示されます。

4 ユーザー名称を入力し、**決定** をタッチする



設定値選択画面が表示されます。

5 設定値を選択し、**はい**をタッチする



ユーザーが設定されます。

▶ END ◀

ユーザーを削除する

登録したユーザーを削除できます。



1 **ユーザー削除**をタッチする

2 削除したいユーザーを選択し、**決定**をタッチする



メッセージが表示されます。

3 **はい**をタッチする

選択したユーザーが削除されます。

▶ END ◀

ユーザー情報を編集する

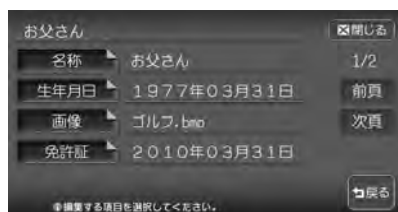
ユーザー名称の変更や生年月日、画像や免許証の更新日などの情報を登録できます。



1 ユーザー編集をタッチする

2 編集したいユーザーをタッチする

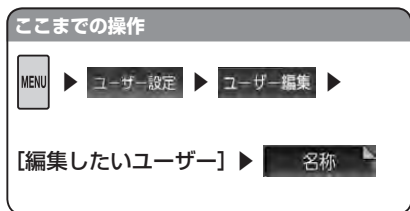
3 編集したい項目をタッチする



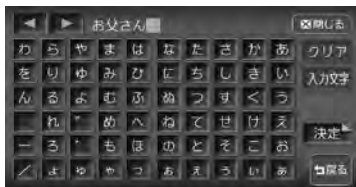
以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
名称	ユーザー名称を変更する	P.335
生年月日	生年月日を設定する 設定した月日になると、お祝いのメッセージが表示されます。	P.335
画像	画像を設定する 設定した画像は、ユーザー選択画面やユーザー設定画面に表示されます。	P.335
免許証	免許証の満了日を設定し、さらに設定した満了日をお知らせする日にちを設定する	P.336
保険1 保険2	保険の満了日を設定し、さらに設定した満了日をお知らせする日にちを設定する	P.336
オリジナル	オリジナルの設定をする	P.337

ユーザー名称を変更する



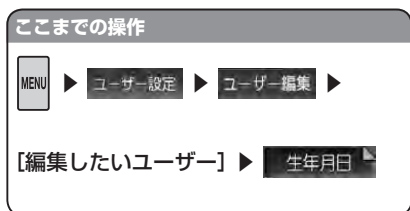
- 1 ユーザー名称を変更し、**決定**をタッチする



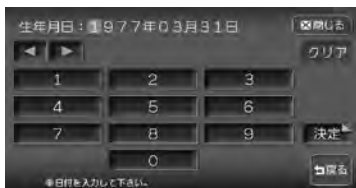
ユーザー名称が変更されます。



生年月日を設定する



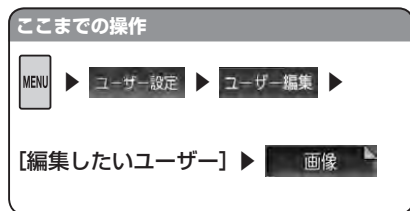
- 1 生年月日を入力し、**決定**をタッチする



生年月日が設定されます。



画像を設定する



- 1 設定したい画像フォルダをタッチする



画像リストが表示されます。

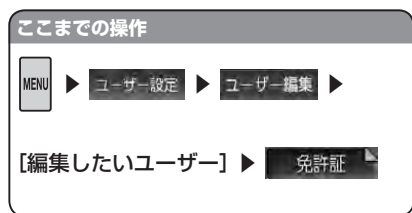
- 2 画像を選択し、**決定**をタッチする



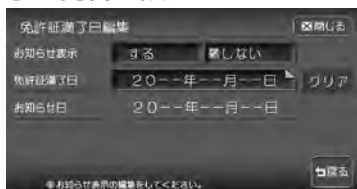
画像が設定されます。



免許証の満了日を設定する



1 免許証の満了日やお知らせ表示の内容を設定する



お知らせ表示：

免許証の満了日をお知らせ表示するかしないかを設定します。(初期設定値は「しない」)

免許証満了日：

免許証の満了日を入力します。

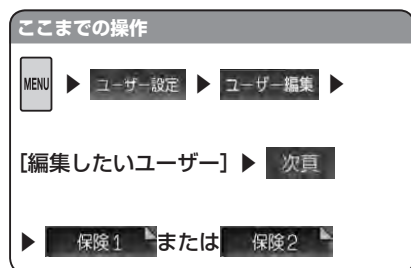
お知らせ日：

免許証の満了日をお知らせする日にちを入力します。

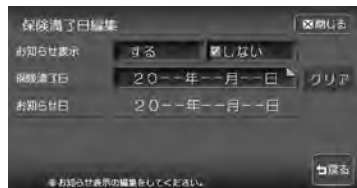
免許証の満了日を設定した後に表示される年月日入力画面で、お好みの日にちを設定できます。初期設定は、満了日の2週間前です。満了日より後にお知らせ日を設定することはできません。



保険の満了日を設定する



1 保険の満了日やお知らせ表示の内容を設定する



お知らせ表示：

保険の満了日をお知らせ表示するかしないかを設定します。(初期設定値は「しない」)

保険満了日：

保険の満了日を入力します。

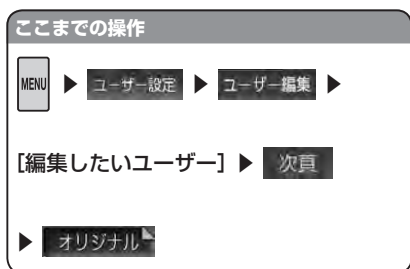
お知らせ日：

保険の満了日をお知らせする日にちを入力します。

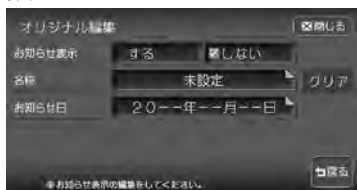
保険の満了日を設定した後に表示される年月日入力画面で、お好みの日にちを設定できます。初期設定は、満了日の2週間前です。満了日より後にお知らせ日を設定することはできません。



オリジナルの設定をする



1 お好みの名称、お知らせ日を設定する



お知らせ表示：

お知らせ表示するかしないかを設定します。(初期設定値は「しない」)

名称：

タッチして、お好みの名称を入力します。

お知らせ日：

お知らせする日を入力します。



お知らせ表示について

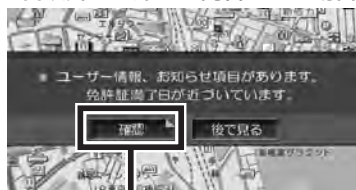
設定したお知らせ日になると、画面にメッセージが表示されます。

以下に、表示例を示します。

■誕生日の場合



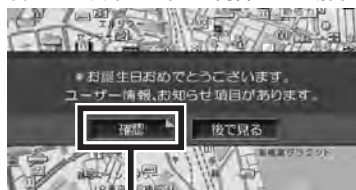
■誕生日以外のお知らせ内容がある場合



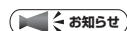
お知らせ項目が表示されます。



■誕生日とそれ以外のお知らせ内容がある場合



お知らせ項目が表示されます。



- **後で見る** をタッチすると、メッセージ画面は消えます。

画面の表示色を設定する

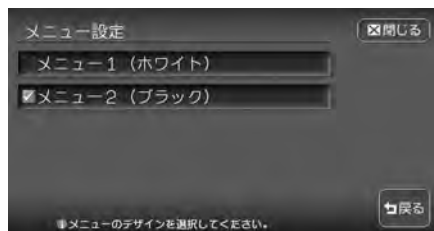
メニュー表示のベース色を設定できます。



1 をタッチする

メニュー設定画面が表示されます。

2 希望の色をタッチする



選択した色のチェックマークが表示されます。

※工場出荷時の初期設定は（ブラック）です。

●メニュー1（ホワイト）を選択した場合



●メニュー2（ブラック）を選択した場合



▶ END ◀

オープニング画面を設定する

本機の電源を入れた時に表示されるオープニング画面を、好きな画像に変更できます。

お知らせ

- ・ナビゲーション画面時のみ、設定できます。

オープニング画面を設定するには、あらかじめ本機にデータを取り込む必要があります。オープニング画面の取り込み方法は、「**オープニング画面の取り込み／削除**」(P.380)をご覧ください。



1 **オープニング画面** をタッチする

2 オープニング画面にしたい画像をタッチし、**決定** をタッチする



アドバイス

- ・ **初期画像に戻す** をタッチすると、工場出荷時に設定されていたオープニング画面に戻ります。
“工場出荷時のオープニング画面” に設定されている場合は、**初期画像に戻す** は表示されません。

3 **はい** をタッチする

選択した画像がオープニング画面になり、設定メニュー画面に戻ります。ハードディスクに録音されているアルバムや曲数が多いと、オープニング画面の表示に時間がかかる場合があります。



Memo